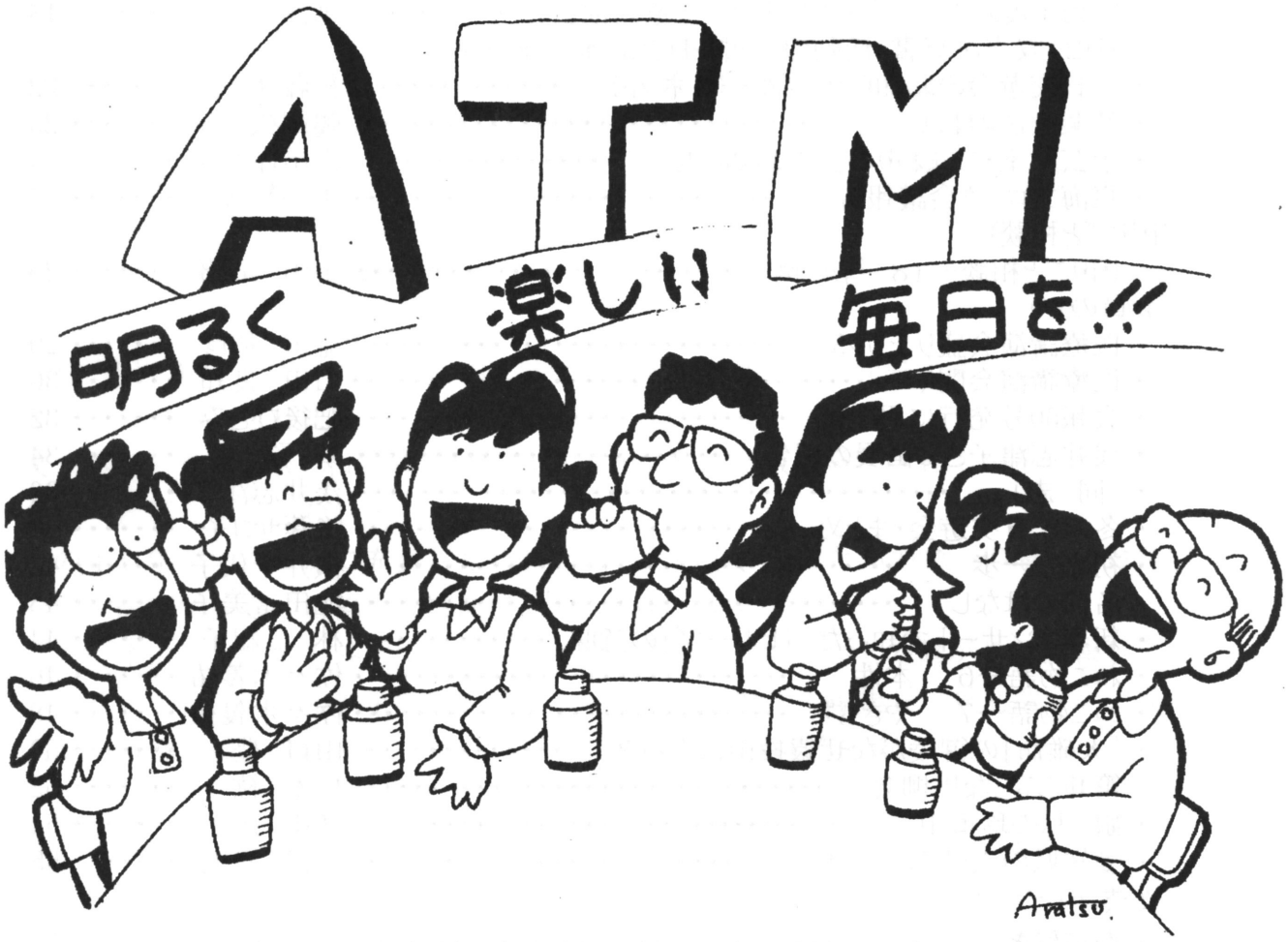
１９７１年　８月　７日第３種郵便物認可　毎月１・６の日発行
２０１０年　４月　２日発行　　増刊通巻６８６３号

SSKA　全国パーキンソン病友の会会報
愛知県版　５０号



平成12年に会報を創刊された丹羽さんの三回忌に合わせる様に、会報が記念の50号を迎えました。一口に50号と言っても10年の歳月を経て達成されたもので、先人の方々のご努力にただただ感謝申し上げるばかりです。
今年も大きな動きがあり、大道会長が任期を迎えて勇退されました。 平成22年度からは益田利彦新会長を中心に、皆で力を合わせて会の目的に向かって邁進します。

（池田）

4～5月の行事予定

・ 平成22年度定期総会と医療講演会		5月 1日（土）	名古屋総合 ~~北区~~社会福祉会館
・ 音楽療法	： 4月 13日（火）	5月11日（火）	名大病院ナディック
・ ひまわりの会	： 4月15日（木）	5月20日（木）	熱田図書館・集会室
・ 一日交遊会		5月29日（土）	ブルーボネット
・ 定例役員会	： 4月 3日（土）	5月は休みです	東海事務所（参加自由）

〈目 次〉

〈巻頭言・特集〉
・就任にあたって …… 益田 利彦 …… 3
・三回忌に際して、丹羽さんとの会話 …… 山尾 武史 …… 5
・故丹羽会長三回忌を迎えて …… 肥後ひとみ …… 6
・薬の話 ・・・・立ちくらみ …… 平山 正昭 …… 8
・十三回 EBMとオーダーメード治療 …… 渡辺 宏久 …… 14
〈お知らせ〉
・H22年度総会（総会・体験発表・医療講演会） …… 越澤 博 …… 18
（H21収支決算書・活動報告書&H22活動計画書）
・一日交遊会のお知らせ(ブルーボネット) …… 後藤サヨ子 …… 22
・音楽療法のお知らせ …… 鵜飼久美子 …… 23
・手芸教室・ひまわりの会のお知らせ …… 山尾佐知子 …… 24
・東海ブロック会議報告 …… 事 務 局 …… 25
〈困りごと相談〉
困りごと相談ー18「転 倒」 …… 平山 正昭 …… 26
〈会員の声〉
・医療講演会盛り上がる …… 益田 利彦 …… 29
・医療講演会開く …… 山田 良知 …… 30
・会報50号発行に思う事 …… 肥後ひとみ …… 32
・浅井志津子さん個展の報告 …… 事 務 局 …… 34
・「同 志」 …… 浅井志津子 …… 36
・冬の一日交遊会・まとめ …… 後藤サヨ子 …… 38
・初めの一歩 …… 横井千代子 …… 42
・名前のはなし …… 池田冨美子 …… 43
・新春コンサートで知った「ビリーブ」の意味 …… 林 三紀子 …… 44
・ねこ物語ー6 本性 …… 佐々木義祐 …… 46
・ねこ物語ー7 やきもち …… 佐々木義祐 …… 48
・「大碓命」の御陵がなぜ猿投山に有る？ …… 山口 豊 …… 50
・第4回ぷらな川柳会 …… 松本 紘一 …… 52
・娘と私の珍道中 …… 増田 民子 …… 54
・愛知県の人は本当に親切だ …… 池田 幸夫 …… 55
〈文芸コーナー〉
・春が好き …… 今枝 清美 …… 56
・自句自解 ・ 花 …… 越澤 博 …… 57
・事務局たより …… 越澤 博 …… 58
・竹頭木屑 …… 越澤 博 …… 59

就任にあたって

会長 **益田 利彦**

今年度から会長を拝命しました益田利彦でございます。退任されます大道忠弘会長、ご苦労さまでした。大道会長・先代の丹羽浩介会長・先々代八野健蔵会長、先輩は皆様優秀な人格者でしたが、それに引き換えおぼつかない私が大役を引き受けることになってしまいました。只一つ、私は健常者です（健常ではなく、「当会の患者でない」が正しいかもしれません）。理想としては、罹患者本人が会長で私達健常者がお手伝いする事だと思います。
しかし引き受けたからには、諸先輩の築き上げてこられたこの組織を守りまた充実させ、愛知県のパーキンソン病罹患者及びその家族の苦悩の追放と生活の質（QOL）の向上に努力いたします。

私は平成 14 年 6 月に家内が入会と同時に、愛知健康プラザで行われた一日交遊会に付添いで出席したのが友の会の行事への初参加でした。
それから丁度 3 年後、丹羽会長から役員会に来てみないかと誘われ、平成 17 年 8 月の役員会に顔を出したのが最初です。その後 5 年間は出来る範囲で微力ながら友の会のお手伝いをさせて頂いてきました。
そこで体験して学んだことが私の全てです。大役を拝命しましたが、私は諸先輩のように人間的魅力や統率力は持ち合わせておりません。役員の皆様を始め、会員の皆様のお力添えをよろしくお願いします。

昭和 53 年 4 月 1 日（1978）に全国パーキンソン病友の会愛知県支部が結成され、今年は３２周年に当ります。
又「会報・愛知県版」は平成 12 年 10 月（2000）に初版が発行されてから、今回は記念すべき第５０号となります。
この１０年間でこの様に充実した会報となったのも、先輩たちの会への思い・会員の参画・医療関係者のご協力と援助があったからと思います。
会の行事に出たくても外出できない多くの会員の方には、会との繋がりは会報が全てとなります。この会報の重要性を考えるとき、特に歴代の編集長（丹羽浩介・中島陽太郎・越澤 博・池田幸夫）諸氏の功績は大きく、献身的奉仕には敬意を表します。

先代会長の丹羽さんが逝去されて三回忌となります。私が故丹羽会長と初めてお会いしたのは前述の通り平成 16 年 6 月で、丹羽さんが会長に就任されて２ヶ月の時でした。一日交遊会を終えて帰ろうとすると、家内が丹羽会長から “少し話をしていきませんか？” と呼び止められました。当然付き添いの私も同席したわけですが、家内が発病して８年、特定疾患の認定を受けて１年目で、藁にもすがる思いでいた時です。

この時の丹羽さんは、病状質問から始まってご自分がやっておられる対処法等、立て板に水を流すが如く話され、こちらはほとんど聞き手でした。このとき、なんと話上手な方と感銘しました。

諺に話し上手に聞き・・・・とかありますが、後半の・・・・は無く、「話の豊富な方」に変更します。その３年後から、役員会でお手伝いをするようになりました。
最初しり込みしていた私も、丹羽さんの書物を読み生き様を拝見して、丹羽さんが会長でみえる限りお手伝いします、と自ら口にするようになりました。
丹羽さんは研究熱心なアイデアマンでした。また自分の考えは梃子でも動かない芯の強い方でした。更に思い立ったら直ぐ行動、明日まで待てない人だったように思います。昼ごろ家に電話があり、病院の調査で相談がしたいとのことでした。話している内に“今からそちらに行くから”と電話を切り、私が車で最寄りの駅まで迎えに行くと、待つ間も無く丹羽さんが駅から出てこられ、その行動の早さには驚きました。

私は丹羽さんに異論を言うことは無かったのですが、一度だけあります。結論の出ない会議の時、丹羽さんが席を立たれた後を追って行き、丹羽さんここは耐えて下さいと、丹羽さんの意見撤回を求めたのです。
普段物言わない私の突然の切り出しに、驚いたご様子で「分かった」と一言いわれ、会合は無事にまとまりました。患者の為に、会の為にと常に前を走ってみえたカリスマ的丹羽さんが、ご自分の意見を曲げたのはこの時の一度だけだったと思います。

丹羽さんとは、平成 19 年 12 月 7 日名古屋市中川区の病院へ院長先生のインタビューに同行しました。
丹羽さんは元気に院長先生と対談され、まさかこれが最後のお仕事になるとは思いもしませんでした。その３日後、名大病院に検査入院されてそのままベッド生活となり、二度と退院する事は出来ませんでした。

愛知県パーキンソン病友の会が現在のように充実出来たのも、ひとえに丹羽さんのお力によるものであります。丹羽さんの教えは、会員のみならず全国の患者の心に深く植えつけられて消えることはありません。

丹羽さんの教え；明るく　楽しい　毎日を　・・・　ＡＴＭ

をモットーに頑張ります。

丹羽さん三回忌

三回忌に際して、丹羽さんとの会話

緑区　**山尾　武史**

私：「丹羽さん、何を急いでいるの？　何処へ行くの ?」

丹羽さん：「少しの時も惜しいねん。患者さんの苦しみを癒したいのや。」

私：「あんたは千の風になって飛び回って行けるが、私は車だからそんな訳にはいかんわ。うどんかピザでも喰って行こう。」

丹羽さん：「何度も言うけど、患者さんが苦しんどるんや。早よ，行かんと。」

私：「あんたは生前、生後も忙しい人だなぁ～。」

丹羽さん：「私は体が無いから平気やねん、ほんじゃっ　先に行くよ。」

丹羽浩介さんの事を思うと、私自身が何か言うより誰しも思いは同じと思いますが・・・・・・。　何故もう少し自分と自分の身体を大切にしなかったのか？

各会員や患者さんのことも大切であり、気に懸かることと思います。しかし生前に私の車で走っている時には、事ある度に丹羽さんの体の事が心配でした。
それもその丹羽さんの生きる定めであり、前に進むしかなかったのではと思います。
いろいろと目に掛けていただいたのに、私は悔しくてならない。
同じ事を繰り返す様だが、唯々、何故？　何故？　・・・・・・・　、という思いばかり。
三回忌になっても、思いはぬぐい切れないことであります。

最後に、人は人として生きる以上、その定めを果たさなければならなかったのか？
丹羽さんは、その人生を楽しく過ごせたであろうか？

丹羽さん三回忌

故丹羽会長三回忌を迎えて

東海市　肥後ひとみ

早いもので、あの日からもう２年が経つのですね。月日の経つのは早いですね。あの訃報を聞いたのを、つい数日前のような気がします。まだ「おはよう」と、いつものあの元気な笑顔で電動自転車に乗り事務所にやって来そうです。
丹羽さんは車の免許があるのですが居眠り運転で事故を起こし、運転は止められたそうです。そういう私もそうですが（笑）

この２年の間友の会役員全員一丸となり、丹羽さんの遺志を継ぎ、抜けた後を何とか無事に切り抜けて来ました。ご心配いただいた皆様方、ありがとうございました。
これからも頑張って丹羽会長の遺志を継いでいこうと思っていますので、よろしくお願いします。
丹羽会長との思い出はたくさん有りますが、友の会で教えられた事を書きます。

☆　他人の為になる事をすれば、自分の為にもなる！
例えば人に何か親切にすると、必ず自分も誰かに親切にされる

押し売りは駄目ですよ！　この事をよく言われていました。だから丹羽さんは、あんなに会員さんに対して身を粉にして尽くされ、また会員さんも丹羽さんを慕っていたのでしょうね。
愛知だけではなく、全国規模でした。その証拠に、今でもまだ手紙が奥様のところに届いているそうです。2年も経っているのに、それだけ人の為に尽くしてこられたのでしょう。誰にも真似の出来ないことだと思います。本当に尊敬するお方です。

☆　人と比べるな！
人は誰かと比べて自分はどうだと判断するが、それは違う。自分と他人は価値観が違うのだから、自分が幸せと感じても他人は感じないことがある。だから薬でも同じように効く人と効かない人がいるのだから、比べてもしょうがない。
人は人、自分は自分と割り切ることと教えられ、それからはあまり人様の目が気にならなくなりました。車椅子に乗ろうが、杖を突こうが、すくみ足でよたよたしていようが何処にでも出かけて行くようになりました。

皆さんも人目を気にせず、これからはいい季節になりますから近くの公園でもいいです、散歩程度でもいいですから出かけてみてください。そこには新しい出会いがあるかもしれませんよ！

☆　後を振り向くな！
「私たちは病気になる前の、若くてバリバリ働いていた時代があります。その時代を思い出すから、今が出来ないことに苛立ち、落ち込んでしまう。
ならばその過去を忘れ、現在の状態から始めれば何でも出来るんじゃないですか。出来ないことは無い訳で、こういう前向きな考え方を何事に対してもしなさい。悪い方向に持っていかないで、いい方向に持って行くようにする。
だから過去の自分は忘れなさい、今の自分で考えなさい」と言われました。

それまで何故出来ないのだろうと落ち込んでいたのが、少しはしょうがない、こんな病気だからと考えられるようになって落ち込むことは少なくなりました。
まだまだ落ち込む時もありますが、明るく生活しています。惜しむらくは今アドバイスを頂く方がいなくなって寂しいです。

これは余談かもしれませんが、明るい服を着るとも言われていました。「私たちは病人です。どうしても暗い人多いです。ですから自分はなるべく明るい服を着て明るくしているのだ、暗い服を着ていると心まで暗くなってしまいそうだから」　とピンクのＹシャツにピンクのネクタイをお洒落に着こなしていました。
似合っていましたよね～！

私は丹羽さんと知り合ってもう 10 年になります。それ以来常に傍に置いていただいて、一時は丹羽さんに電話してもいらっしゃらない時は私に電話が掛かり、「何処に行ったか知らないか？」　とよく聞かれました。
私は丹羽さんの秘書ではないから分かりませんと、よく冗談半分で答えていました。そのくらいご一緒させていただいた頃もありました。きっと家も近いし、私が一人者だから誘い易かったのでしょう。

丹羽さんがお亡くなりになってからは、何処へ行くのも一人になり、友の会の中で一番淋しい思いをしています。でも、入院中はお見舞いに行きませんでした。見舞いには来るな　と言われていたし、前からそのように言われていましたので丹羽さんのお気持ちを尊重しました。
自分自身の衰えた姿を見せたくなかったのだと思います。見ていないから、明るいあの笑顔のままの丹羽さんでいる。
ご自分の輝ける、溌剌としたイメージを残したかったのだと思います。その通りのイメージで残っていますよ、だからいまだに亡くなられた気がしないのです。

丹羽さん、いろいろお世話になり最後までありがとうございました。何も恩返しが出来ないうちに逝ってしまわれたけれど、私は私なりにこれからも頑張って生きて行きます。

感謝と尊敬を込めて、

ありがとうございました！！

薬の話（立ちくらみ）

名古屋大学・神経内科　**平山　正昭**

パーキンソン病のガイドライン本を書いていると言いましたが、頼まれている部分は自律神経の部分でした。その際にこの薬の話で、血圧の異常について書いていないことに気づきました。そこで今回は、立ちくらみを中心としたパーキンソン病の血圧異常について書きたいと思います。

パーキンソン病では、病気になってからもしくはその前から自律神経に異常があることが知られています。
たとえば、便秘は、パーキンソン病になる前から見られます。便秘が多くなると PD の発症リスクを高めるとした報告やLewy小体というパーキンソン病で特有の異常も排便回数の減少に伴い増加しているとする報告があります。

同様にパーキンソン病でも、MIBG と言う交感神経を調べる検査で異常が見られたり、最近問題になっているパーキンソン病に類似する Lewy 小体型認知症では、繰り返す失神が診断基準の中に入っています。さらに、60 歳以上では,起立性低血圧の頻度は増加しますので、高齢化社会を迎える日本のパーキンソン病患者さんにも血圧の調節を維持するように注意が必要です。

起立性低血圧というと、診断基準があります。血圧には高い方を収縮期、低い方は拡張期と言います。おおよそ収縮期血圧が、20mmHg 以上低下した場合を起立性低血圧が陽性と言います。
しかしながら、たとえば、血圧 140mmHg の人が 120mmHg になってもそれほど症状はありませんが、90mmHg の人が 70mmHg になってしまうと症状が出現します。

脳は一番大事なところですので、少しぐらい血圧が変わっても脳の血液の流れを一定に保つ働きがあります。これを脳循環自動調節能と言います。
多系統萎縮症という病気ではこの機能が障害されているのですが、パーキンソン病では基本的には保たれているので少しぐらいの血圧低下があっても脳の血液の流れは変わらないのでめまいにはなりません。

しかし、血圧 70-80mmHg 以下となると障害がでます。従って、起立性低血圧の予防には、臥位時や座位時の血圧がある程度保たれていることが大切です。

安静時の血圧低下を招く原因には、身体の状態としては脱水、発熱、食後の血圧低下、血圧の日内変動、運動後などがあります。 また、環境因子として、高温環境があげられる。パーキンソン病の患者さんは、先ほど述べた状態がちょっと変わっただけでも余計に血圧が下がりますので、まず臥位時や座位時の血圧が下がらないように予防することが必要です。

まず、パーキンソン病では、早期から発汗障害が出現することが知られています。発汗低下は、夏季などの高温環境下ではうつ熱の原因となります。体温の上昇は低血圧を来たし、起立時の血圧調節も悪化するため環境温度の設定に注意が必要です。
具体的には、夏はあまり高温下の外出は控えて、涼しくなってから外出するようにしましょう。

また、食後には血圧が低下することが知られています。これは食事性低血圧と呼ばれていて、自律神経障害の著しいパーキンソン病の患者さんで最初のこの現象が報告されました。
この報告では、座って食事をしていたら、知らないうちに意識がなくなってしまったので血圧を測ったら非常に低下していました。この時には、この原因はわかっていませんでした。よく食事をするとその後におなかに血液がたまってしまって頭がぼーっとするといいますが、実際に食後におなかに血液がたまることはありません。

それでは“どうして血圧が下がるのか解明してくれ”と上司から言われて研究を行ったのですが、実は、これが私の最初の研究です。
この原因を解明して私は、博士論文をとっています。さてこの原因ですが、実は人は食事をすると消化管から血管を開くようなペプチドという物質が出て、体中の血管が開くようにできているのです。

体中の血管が開くと血圧は下がってしまいます。そこで、人間は腸の血管以外の血管が開かない方がいいところは個々に自律神経で調節して血管を収縮するようにします。具体的には、腎臓や筋肉の血管や静脈の血管は、食後に自律神経の働きで収縮することで全体のバランスを保とうとします。

また、食後には脈拍も上げることで血圧を維持しようとします。これが、食後には 30 分から 1 時間ぐらいをピークにして数時間続きます。食事と言っても自律神経は知らない間に大切な調節をしているのですね。このように自律神経は食後に活発に働いているので、昔から食後にはあまり急な運動をしない方がいいというのは理にかなっているのです。この治療ですが、どうしても自律神経の調節ができない患者さんに

は食前にあらかじめα刺激薬（メトリジン）とβ刺激薬（カルグート）という薬を飲んで薬の力で自律神経を調節させます（これが私の開発した治療法です）。

また、食事を急に吸収させると余計に血圧が下がりやすいので糖尿病の薬（ベイスンなど）を服用することで吸収をゆっくりにします。
しかし、軽い血圧低下ではそれほど気にする必要はありませんので、食事をしたら1時間ぐらい横になって休憩することで十分予防可能です。また、食事中のコーヒーやお茶はカフェインの作用で血圧が下がりにくくします。
他にも食事としては、アルコールや多量に甘いものをとると血圧がより下がりやすくなります。健康のためにもほどほどにしましょう。

また、運動をした後に急にじっとしていると血圧は下がります。運動選手でも、急に運動をやめると運動直後に失神してしまうことがあります。
この原因は、運動することで筋肉の血管が拡張しています。運動中は筋肉にもポンプ作用と言って血圧を維持する機構があるのですが、急にやめてしまうとそれが無くなってしまいます。したがってちょっと長く運動したときには、パーキンソン病の方はじっと立っていないで横になるなり、足を組んで座るなりした方がいいと思います。

水分をとることは血圧の維持に非常に重要です。ある研究では、500ccの水を飲むだけで2時間起立性低血圧が予防できたと報告しています。ただ、500ccいっぺんに飲むのは我々でも大変です。
私は、したがって起立性低血圧がひどい人にはストッキングをはいてもらっています。これは、少し足を締め付けるぐらいでないと効果がありません。また、ズボン型のストッキングの方がより効果があります。残念ながらこれも脱ぐのが面倒だということでうまくいかないことが多いのですが、確実に効果はあります。

起立性低血圧の薬物療法は、私は最後の手段にしています。なぜなら、思ったほど効果がないことや全体に血圧を上げてしまうので、寝ているときには血圧が180mmHgになったりしてしまうからです。
どうしても使用しないといけなくて寝ているときの血圧が高くなってしまう人には、寝るときに頭を10cmぐらい高くしてもらうようにしています。
薬物治療としては、ドプスのようなパーキンソン病の治療薬でもあり、起立性低血圧の治療薬でもある薬がありますので、薬物治療がどうしても必要な方には使用しています。

また、起立性低血圧を起こしやすい薬剤があります。パーキンソン病の患者さんでは、

鬱的になることがあるのでSSRIという抗うつ剤が処方されることがありますが、起立性低血圧を悪化させるので必要がなくなったらやめるようにしています。
また、パーキンソン病の薬そのものもほとんどに血圧の調節にはよくない作用があります。たくさんの薬を飲んでいる場合には整理することも大切です。

〔一宮のパーキンソン病友の会講演会を終えて〕

年間3回を目標に友の会の会員募集もかねて、講演をしています。昨年は岡崎と春日井で、2月には一宮で行いました。今年は、東三河では豊橋、西の方では津島あたりか、南の方では大府か安城あたりを計画しています。
この講演会は基本的には、最新の医療と言うよりも初めての患者さんが多いと言うことなので、基本の話だけにしています。最新情報などは質疑応答で行うようにしています。講演会だけを目的に何度来られても、話はあまり変わりません。

最新の話を講演するのは、友の会の総会で行うようにしています。今年は、名古屋大学の渡邊宏久先生が講演を行ってくれます。私よりも若いのですが、ずっと優秀な先生で私がなかなか載せられない有名雑誌にいくつも報告をしています。5月1日に行う予定となっていますので、期待してください。

講演会でびっくりしたのは、質問に“先生パーキンソン病の外科治療はどうなんでしょうか”という質問があったことです。パーキンソン病の外科治療である定位脳手術はスライドで3枚分の話をして、その中には1分以上のビデオも入れてあったのでこれを聞き逃すことはないと思うのですが。こう考えると外来で話している話は、どれだけ患者さんに伝わっているか不安です。

最近医療崩壊の記事がめっきり少なくなったのですが、決して無くなった訳ではありません。単にもうニュースにしても誰も気にしなくなったのでマスコミが記事にしなくなっただけで、むしろ我々の間では前よりも悪化しているところが多くなっています。その中でよく問題になるのは、医師がちゃんと説明しないということです。実際に、私の外来に他の病院でしっかりと話をしてくれないと言って来院される患者さんが見えます。

私は大学でまだ恵まれているのでゆっくり話せるのですが、忙しい市中病院の先生では時間の制限があります。さらに今回の講演のように、話しても伝わっていないことは多いのではないかと思います。私のところに来る多くの患者さんの主治医は、患者

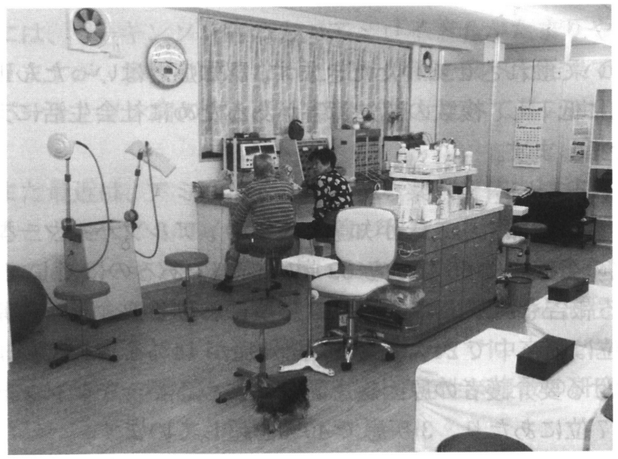
さんが言われるようないい加減な先生ではありません。そうした患者さんには悪いですが、私もすべてが真実であると思って聞いているわけではありません。

時には、その先生のことは信じられないと言って勝手に、「指のマッサージをするとパーキンソン病が直る」という本を書いている某国立大学教授の話を信じて、直らないと言ってくる人も見えました。すでに３人です。
この先生は、我々パーキンソン病を診る医者の間でも問題になっていています。臨床医ではなく基礎の実験をしている先生です。パーキンソン病をしっかり見たことも無いと思います。

論文は査読者と言ってちゃんと審査をされますが、本は審査を受けません。本来医師であれば、ちゃんと臨床試験に基づいて明らかになったことを書くことが必要だと思いますが、この先生の主張は彼自身の仮説に基づいているだけです。
たとえば、健康食品として用いられるビタミン C やビタミン E は確かに実験レベルでは抗酸化作用が強く、老化に効果があるはずです。

しかし、まだ人間に使って明らかに効果があったとする論文はなく、多くは否定的な結論です。我々も、以前飽和水素水がネズミには効いたと言っていますが、人間に効くかは現在順天堂大学と治験を行っていて、結果が出るまでは本当に効くかどうかは言っていません（現在も治験のエントリーは続いているので詳しくは順天堂大学のホームページを見てください）。

しかし、本では根拠が無くても問題ありません。その上こういった本に限って、新聞だと一面の下に広告が載ります。患者さんが、新聞の一面に載っているからと言いますが、ここは一番広告料の高いところで新聞社にとっては載せてくれるならどんな本でも大歓迎です。一度、新聞の一面の広告をよく観察してください。多くが“癌は食事で治る”と言う健康食品会社の関連した体験本や昭和風俗辞典のような変なエロ本の広告ばかりです。



東海市の

「福山接骨院」

をご案内します

＊診療科目
・・・機能回復訓練全般
＊診療時間
午前　8:30～12:00
午後　3:30～ 8:00
休診日 ： 日・祝日
（但し、急患は受付）

＊保険適用 ・・・ 健康保険 労災保険 自賠責（事故）等該当します
＊有資格 ・・・・・ 機能訓練指導員認定資格あり。
＊所在地 ・・・・・ 〒477-0034 東海市養父町２－３６ （尾張横須賀駅東）
TEL：0562－32－2332

EBM とオーダーメード治療

第十三回；パーキンソン病と認知症（１）

名古屋大学神経内科　**渡辺宏久**

１，はじめに

この連載では、パーキンソン病の運動機能以外の症状を中心として、最新の標準的治療基準をご紹介するとともに、これまでの治療経験を通じて試してみる価値があるかもしれないと思っている治療やリハビリテーションの方法などをご紹介しています。

第一回；EBM って何ですか
第二回；嚥下
第三回；日中の予期せぬ睡眠
第四回；パーキンソン病と心臓弁膜症
第五回；腰曲がり
第六回；排尿障害
第七回；流涎（よだれ）
第八回；うつ（１）
第九回；うつ（２）
第十回；幻視（１）
第十一回；幻視（２）
第十二回；脳深部刺激療法と構音障害

と回を重ねておりますが、

第十三回のテーマは、「パーキンソン病と認知症（１）」です。

２，超高齢化社会と認知症

本題に入る前に少し認知症について触れさせていただきます。認知症とはいったん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があるために社会生活に支障をきたすようになった状態を指します。

一般に認知症の頻度は加齢とともに増加することが知られており、アルツハイマー型認知症を例にとりますと、年間の発症率は 65 歳から 69 歳は 0.6%であるのに対して、85 歳以上では 8.4%に上るとする報告もあります。平成 19 年度における要介護者の原因疾患を検討した報告でも、1 位は脳卒中で 24%、次いで認知症が 14%を占めています。ちなみに平成 19 年度における要介護者の原因疾患調査に占めるパーキンソン病患者さんの割合は全体の 3%で 7 位にあたり、3 疾患で 40%を超しています。

アルツハイマー型認知症が初めて報告された 1906 年における我が国の平均寿命は約 40 歳でしたので、今ほど話題になっていなかったのですが、当時の倍以上に平均寿命が延びた 21 世紀では、早急に克服すべき大変重要な領域になっているのです。

ご存知のように我が国は少子高齢化が進み、超高齢化社会へ突入しており、20 歳から 64 歳までのいわゆる生産年齢人口と 65 歳以上の比率を取った場合、1970 年は 10 人に 1 人、2010 年は 10 人に 3 人であり、2030 年には 10 人に 5 人、2050 年には 10 人に 7 人と、わずか 40 年ほどで倍増することが想定されています。
すなわち、21 世紀の半ばには全体の人口の中でアルツハイマー型認知症の患者さんの占める割合が増加し、今よりも少ない人数で１人の患者さんを支えていく必要が出てくると想定されます。

３，認知症の原因疾患とパーキンソン病

認知症の原因疾患としては、アルツハイマー型認知症や多発性脳梗塞に伴う脳血管性認知症が有名です。アルツハイマー型認知症では脳の中にアミロイドβ蛋白という物質の凝集が進んで不溶性の繊維形成が進み脳内にたまってしまうことが特徴とされています。また脳血管性認知症では動脈硬化のために脳血管が複数詰まってしまうことやアミロイドが血管に沈着して出血を繰り返すことが認知症進行の原因と考えられています。

認知症、アルツハイマー型認知症、脳梗塞といった言葉はしばしばマスコミでも取り上げられますので、パーキンソン病の患者さんやご家族から、「パーキンソン病になるとアルツハイマー病になりやすいのでしょうか？」とか、「パーキンソン病では脳梗塞や脳血管性認知症になりやすいのでしょうか？」といった質問をいただくことがあります。

パーキンソン病の方がアルツハイマー病になりやすいかどうかを明らかにするためには、パーキンソン病の方でアミロイドβがたまりやすいかどうかの検討が必要となりますが、多数の亡くなった方々の脳を調べた結果では、アミロイドβ蛋白の蓄積はパーキンソン病の方とそうでない方と比べて違いは無かったとされています。

また最近は、アミロイドβに集まる薬剤を体内に注射して PET という画像手法を用いることで、アミロイドβの沈着の程度を観察することが可能となっていますが、今のところパーキンソン病の方においてアミロイドβの明らかな脳内への沈着増加は観察されておらず、パーキンソン病以外の高齢者と同程度の頻度であると考えられています。ただし、レビー小体型認知症の方では、アルツハイマー型認知症と同程度にアミロイドβの蓄積が増加している可能性が複数の研究で指摘されています。

４，長生き出来るようになったパーキンソン病と認知症

ではパーキンソン病では認知症は起きないかというと残念ながらそうとは言えません。30%程度に認知症を認めるとの報告もあります。
パーキンソン病における認知症の原因は色々と言われていますが、多くの報告で共通

して指摘されていることは“加齢”です。

レボドパ治療が開発されて臨床応用がなされたのは 1960 年代ですが、パーキンソン病の方の寿命は、レボドパ治療開発以前は発症から約 10 年であったのが、現在は天寿を全うしていただけるようになってきたとされています。別の研究では、治療薬の出現する前は約 5 年で到達していた障害レベルに、現在は約 15 年かかると報告されています。これは言い換えれば重症度の悪化速度を 3 分の 1 に改善したともとらえることも出来ます。

このような平均寿命や重症度の改善は、主に薬剤による運動機能の改善と密接に関連していると推定されています。しかし、経過が長くなる、言い換えれば年齢を重ねてくると、黒質を超えて病変がより広範囲に広がる症例が増えることも明らかになってきました。この広がった病変が、記憶をはじめとする「認知」と密接に関連する脳の部位に影響を及ぼしてくると認知機能の低下が生ずると推定されています。

加齢以外にも、幻視の有無、軽度の認知機能障害の有無、固縮や無動の程度などが認知症の発症と関連することが報告されています。しかし、こうした症状があったから必ず認知症になるという報告では無く、あくまでも認知症を伴う確率が高いか低いかの問題ですし、関連を否定している報告もあります。実際、一度強い幻視を呈しながら、治療により幻視は消失し、その後何年も認知症を呈していない方を何人も経験しています。

現在までの所、病変がどのような速度で、またどの程度に広がるのかは十分解明されていませんので、病状がどのような経過をたどるのかを正確に予測し、見通しを立てることは出来ません。

５．パーキンソン病で認める認知機能低下（特に物忘れについて）

まずこれだけは確認しておきたいのですが、パーキンソン病で認める認知症は加齢現象と関連があり、長期例で出現しやすい傾向があるのですが、長期・高齢であっても認知症を認めない方も数多くいらっしゃいます。また、気分が滅入っていたり、病気に対する不安があったりする時には、臨床的には全く問題にならない程度の記憶力低下であっても重く考えてしまいがちです。

次号で触れる注意、実行機能の問題は、病気と関係なく誰にでもあることです。日常生活の中で、認知症になってしまったかと一人で悩む場面が出てきたら、どうかすぐに主治医と相談してください。

さて、パーキンソン病で認める物忘れについて触れたいと思います。一般にアルツハイマー型認知症では初期から物忘れが症状の主体となりますが、パーキンソン病では

物忘れは目立ちません。また、物忘れの内容も両疾患で異なり、アルツハイマー型認知症では、ある時点における記憶がガサッと抜けてしまうという特徴があります。

例えば、心配事のために心ここにあらずの状態で食事をした場合、まだ眠くてボーッとしていた場合など、今朝食べた朝食の内容を正確に思い出せないことは誰でもありうることと思いますが、アルツハイマー型認知症では、朝食を食べたという事実を忘れてしまう点が特徴です。

このため、「食事をしていない」と何度も食事を要求したり、「我が家の嫁は食事を作ってくれない」と近所の方に話したりします。また、食事をしたことを伝えても物忘れをしているという自覚が無いため、修正が難しい点も特徴です。

一方、パーキンソン病で認める物忘れの内容としては、食事をしたことは覚えているけど、”漬け物”を食べたかどうかは思い出せないとか、”おかずの内容”を思い出せないなどであることが多く、食べた食事の内容をもう一度聞き直したり、見直したりすることで思い出せることも多いとされています。

人の頭の中にはたくさんの記憶がたまっています。例えば、以前良く見た映画の内容を思い出そうとしても題名を聞いただけでは細かな内容を思い出すことが出来なくとも、その映画を再度見たときには、「あー、次はこうした場面になるな」とか「次の台詞はこうだな」と思い出すことが出来やすいかと思います。

パーキンソン病の場合には、情報を頭の中に「登録」し、「蓄えておく」ことは良好で、「もう一度同じ場面に遭遇した時に思い出すという再認」も良いのですが、「ヒントなどで記憶を再生する、連想する」ことは苦手な場合があるとされており、アルツハイマー型認知症の物忘れとは随分違うことがお分かりいただけるかと思います。

このように、パーキンソン病における物忘れは、詳しく調べないと分からなかったり、生活には影響を及ぼしていないことも多かったりするという特徴があります。また、実際に調べてみたらとても認知症とは言えず、加齢現象でも説明可能であることも少なくありません。

６．第十三回のまとめ

第十三回の紙面も尽きてしまいました。次回は物忘れ以外の認知機能障害の内容、治療法、対応方法などについて、ご紹介したいと思っています。パーキンソン病と認知機能の問題はまだまだ分かっていない点が多く、本文を読まれて分からないことや不安に思ったことなどがあれば、主治医に相談していただきたいと思います。

平成２２年度・総会と医療講演会のご案内

日　時　　平成２２年５月１日（土）　１０時　～　１５時

場　所　　名古屋市総合社会福祉会館・大会議室

名古屋市北区清水町４丁目１７番地１号

区役所・保健所と一緒の建物で、大会議室は７階です。

ＴＥＬ．０５２－９１１－３１９１

地下鉄・黒川駅下車　４１号線を南に約１０分です。

日　程　　１０時　～　１０時３０分　　**総会**

２１年度の収支決算報告・活動経過報告、本年度の活動計画案

１０時３０分　～　１１時３０分　**体験発表**

発表者　森　久子・山口　豊・冨板邦夫・中野朝子の４氏

１１時３０分　～　１３時００分　**テータイム、懇談、昼食**

１３時００分　～　１５時００分　**医療講演会**

講　師　　名古屋大学医学部付属病院・神経内科　**渡辺宏久**　医師

演　題　　**パーキンソン病の副作用とその対策**

申し込み　総会・講演会とも、ご出席の方は４月２２日（木）までに**ハガキ**（または電話）で、住所・氏名・参加人数・お弁当の数を記入の上、お申し込みください。家族、付き添いの方のご参加もお待ちしております。お弁当は１，０００円でご用意します。

申し込みされなくても当日の健康次第で参加されて結構です。ただし、この場合の昼食は各自でお願いします。**講演会のみの方は申し込み不要です。**

申し込み先　〒４５８－０８４７　名古屋市緑区浦里１－６８－５０８　越澤　博

℡　050-3335-4970

○　副会長　山尾武　氏から先着１００名様にプレゼントがあります。お楽しみに！

21年度　収支決算書

21年3月1日から22年2月28日まで　　単位：円

収入		支出	
繰越金	474,986	会議費	209,386
会費	1,310,000	交通費	401,419
寄付金　個人	472,200	通信費	104,705
寄付金　団体	826,380	印刷費	740,842
預金利子	8,257	消耗品費	109,625
会報等売り上げ	40,540	総会費	73,920
		本部負担金	513,703
		全国大会	346,876
		講演費	195,912
		交遊会費	249,001
		愛難連	88,430
		一泊旅行	52,720
		次年度繰越	45,824
計	3,132,363		3,132,363

預　金　内　訳　表

22年2月28日　現在　　単位：円

郵便定額貯金	2,000,000	次年度繰越	2,000,000

監　査　報　告　書

会長　　益田　利彦　様

愛知県パーキンソン病友の会・平成21年度の会計を監査しましたところ、記載されている事項と帳簿類、預金通帳との間には矛盾なく、正確なることを確認いたしました。

平成22年3月6日　　監査人　　神原　時彦

２１年度・活動報告

○ **役員会**　毎月第一土曜日に東海市の事務所（大田町天神下の上　雨尾幼稚園前）で開催しました。役員以外の方でも参加自由ですので、一度のぞいてみてください。よろしかったらお手伝いください。

○ **音楽療法**　毎月一回、名古屋大学医学部付属病院で音楽療法士の鵜飼久美子先生、鈴木千春先生によって実施しました。
目的は　①発声、歌唱トレーニング　②音楽による気分転換　③患者同士の交流・情報交換を中心に行っています。同病院神経内科の平山正昭医師は「ここに出かけて来ることが既にリハビリとなっています」と言われます。自由参加ですので、どうぞお出かけください。日程は会報でお知らせしています。

○ **パーキンソン・デー**　国会請願
８名参加しました。概要は会報（４５号）でお知らせしてあります。

○ **総会**　４月２３日に開催しました。場所は名古屋市総合社会福祉会館（今年で６回目）で、総会のあと次ぎの５名の方の体験発表者がありました。
神谷みよ子、三宅和男、山田良知、後藤サヨ子、関和子さん。
午後の医療講演は本町クリニック院長　服部達哉医師、副院長　服部優子医師にお願いしました。
演題は院長は「パーキンソン病と言われた後で」副院長は「パーキンソン病の介護を考える」でした。

○ **一日交遊会**　５月３０日、８月２６日、１１月９日、２月２５日と４回実施しました。
午前　音楽療法（鵜飼久美子先生）、昼食を頂きながら懇談。
午後　リハビリ（埜口　義広先生）。
５月の会場は名古屋港ワイルドフラワーガーデン・ブルーボネット、
８月は名古屋市西生涯学習センター、１１月、２月は名古屋市北生涯学習センターで行いました。

○ **一泊旅行**　11月２８・２９日、愛知県南知多老人福祉館「ビラ・マリーン南知多」名古屋大学神経内科の平山正昭医師ご夫妻が同行され、夕食後、懇談会。山田和宏さんのマジックに皆さんビックリ。

○ **医療講演会**　６月２７日岡崎で、１０月３１日春日井で、２月２０日一宮で開催。講師は３会場とも平山正昭医師。演題は「パーキンソン病の病態と治療」

○ **新春コンサート**　毎月一回行っている音楽療法を何かのかたちで外に発信したいという鵜飼先生の思いで、１月１５日、院内コンサートということで実施しました。

○ **ひまわりの会**　毎月第３木曜日に手芸教室をはじめました。会場は名古屋市熱田図書館です。お気軽にご参加ください。

○ **パーキンソン・デー国会請願署名運動**
寒い中を、ご協力ありがとうございました。

○ **会報の発行**　４４号、４５号、４６号、47号、48号、４９号の６冊。

22年度・活動計画

総会　５月１日（土）、名古屋市総合社会福祉会館で開催。午後、医療講演会　講師は名古屋大学医学部神経内科　**渡辺宏久**医師。演題は「パーキンソン病の副作用とその対策」。

役員会　毎月第一土曜日。東海市の事務所（大田市天神下の上、雨尾幼稚園前）で開催。どなたでも参加できます。役員になり、活動してください。

音楽療法　毎月１回、名古屋大学医学部２階、ナディックで開催。日程は「会報」で。

一日交遊会　年４回（春夏秋冬）開催。音楽療法、リハビリ、おしゃべり会等。その都度「会報」でお知らせします。

ひまわりの会　毎月第三木曜日、熱田図書館集会室で開催。手芸等楽しんでいます。

医療講演会　総会時のほかに、３回開催・豊橋市、大府市、西尾市を予定しています。

一泊旅行　秋に計画しています。

クリスマス（もしくは）**新春コンサート**　音楽療法の成果発表会。

パーキンソン・デー　国会請願署名運動　「継続は力なり」ご協力を！

会報の発行　偶数月に発行します。A・T・M「あなたのたより（投稿）をまっています。」

本年度の役員

顧　問	服部　達哉	服部　優子	平山　正明	（医師）
	神野久美子	（運営）	鵜飼久美子	（音楽療法）
会　長	益田　利彦			
副会長	山尾　　武	山尾佐知子	池田　幸夫	
事務局	越澤　　博	浅井　利一	池田冨美子	伊藤　岳枝
	伊藤フサ子	大津　慶明	小川　勝司	梶田喜美子
	神原　時彦	後藤サヨ子	関　　和子	大道　忠弘
	鷹羽　勝造	肥後ひとみ	益田　　緑	森　　久子
	山田　良知	山本　芳夫	山本　妙子	

「春の一日交遊会」お知らせ

暖かくなってまいりました。一雨ごとに緑が育っていく時節です。 爽やかな気候のように、心身ともに爽快にいきたいものですね。
今回は、毎回人気の「ブルーボネット」での開催です。咲き誇る花々を堪能して下さい。
尚、40名で締め切らせて頂きますので、早めにお申込み下さい。

担当幹事

記

1．期　日　：　５月２９日（土）

2．場　所　：　名古屋港ワイルドフラワーガーデン・ブルーボネット
名古屋市港区潮見町４２番地　　TEL：052－613－1187

3．講　師　：　鵜飼久美子先生　＆　埜口　義広先生

4．日　程　：

10：00	～	11：00	受付　園内をお楽しみ下さい
11：00	～	12：00	音楽療法・鵜飼久美子先生
12：00	～	12：45	昼食
12：45	～	14：00	お話し会
14：00	～	15：00	リハビリ・埜口　義広先生
15：00	～		ティタイム後、現地解散

5．会　費　：　一人　１５００円、　お昼の弁当代と入園料に充当します

6．申込み　：　電話か葉書で、５月１５日（土）までにお願いします。申込み時に障害者手帳の有無と６５才以上の方は、その旨お知らせ下さい
〒458－0005　名古屋市緑区鳴丘１－314　　後藤サヨ子
TEL：052－876－1636

7．交通手段

（1）車で来られる方は；
名古屋市内の247号線を金山方面から南下、柴田本通り一１の交差点を右折、汐見橋を越えて最初の信号を左折しガード下を抜けると左に駐車場、右手にブルーボネット

（2）往路：市バス・ワイルドフラワーガーデン行き
・金山発　……　４番乗り場　　9：２３
・神宮東門発　…　８番乗り場　　9：２９

（3）復路：市バス・乗り場は駐車場を越えたところにあります。徒歩５分
・神宮東門行　…　15：21、　16：21
・金山行　……　15：51　　16：51

以上

患者さん向けの集いへ参加のお勧め

中部学院大学　**鵜飼久美子**

名大病院ナディックで音楽療法を開始して３年目に入り、これまでに２６回を数えます。参加登録していただいた方々は、患者さんが４２名とそのご家族が１４名で、昨年度１年間の１回の平均参加者数は３７名です。
皆さんは、その日の体調と相談しながら参加するかしないか決めておられるようです。中には毎回参加の方もおられます。回数を重ねてきますと、少々無理をしてでも、出かけて来られる方もあります。これは、ナディックに行くことが日課となっているようです。そうかと思えば、いつの間にか来られなくなられた方もいらっしゃいます。

このような状況ですが、私たち音楽療法士は患者さんにとってどのようなことで貢献できるかと考えます。今はとにかく「ここへ来ていただき、患者さん同士のコミュニケーションをはかるお手伝いをする」ことから始まり、次に「声のトレーニングと歌を唄って声を出す」「音楽リズムの刺激によってリズム障害の改善」を中心にやっています。

ところで、皆さんのお住まいの地域では保健所などが、患者さん向けの集いを実施しているところも多々あるのではないでしょうか。まだ参加したことのない方は、ぜひ思いきって出かけてみてください。保健師さんが様々な取り組みを計画されており、心身のリハビリとなります。
皆さんの勇気ある一歩が仲間を増やし、情報源を得る場となり、世界が広がります。

ナディックでの音楽療法も、たった１カ月に１回ですが参加してみてください。私たち音楽療法士も改めて継続することの大切さを感じながら、プログラムの工夫に努めていきたいと思っています。

ナディック音楽療法の予定

２０１０年　４月１３日、　５月１１日、　６月８日

７月 13 日、　８月 10 日、　９月７日

時　間　：いずれも火曜日　午後２時 15 分～3 時 30 分（休憩 10 分）
場　所　：名大病院　広場ナディック（新中央診察棟２階）

問い合わせ・申し込み　：　TEL か FAX　いずれかにて下記まで
052－834－4150（鵜飼久美子）
※　留守電のメッセージには、必ずお名前とお電話番号をお知らせください

手芸教室ひまわりの会 お知らせ

皆様、お元気でお過ごしでいらっしゃいますか？
季節の変わり目で、辛い日々ですね。負けずに頑張りましょう。自分の気持ちひとつで、楽しい一日を過ごしましょう。
会報４９号で、５月の日付を間違えました。済みません、訂正させて頂きます。

2010年（平成２２年）の日程：第３木曜日、１３時～１６時まで

- ４月１５日（木）　カタログを見て、自分の作りたい
- ５月２０日（木）　ものを作成していきます。
- ~~６月１７日（木）~~ 休み　材料費は自己負担です。作品は
- ７月１５日（木）　自由です。
- ８月・夏休みで休み
- ９月１６日（木）　楽しい時間を過ごしましょう！
- ~~１０月・図書館が休みで休み~~ 10月14日(木)
- ~~１１月１８日（木）~~ 11月11日(木)
- １２月１６日（木）

◎　場所・・・熱田区　熱田図書館　集会所（出入り口入ってすぐ左）
　　TEL　052-671-6600（10：00～　月曜休み）
　　JR熱田駅前（名古屋方面に向かって左　徒歩１１０m）
　※ 車でお越しの場合は、区役所地下駐車場に入れて下さい。
　　駐車券は、図書館で無料化の認印を貰えます。

◎　時間・・・13：00～16：00

◎　連絡先・・山尾佐知子：090-6362-2083、052-622-8675
　　肥後ひとみ：090-5863-6474

全国パーキンソン病友の会・東海ブロック会議

岐阜県　三重県　静岡県　愛知県友の会による東海ブロック会議が２月５日、熱田図書館で開催されました。会議の内容を下記にお知らせします。　（事務局　池田）

出席者　岐阜県：長谷川（全国副会長）　静岡県：~~岩~~ 磐本支部長　紅林　海野
　　三重県：~~枡田~~ 桝田　松原　山田　愛知県：大道　益田　山尾サ　池田

議題―１　東海ブロックの代表幹事の選出　・・・　長谷川岐阜県支部長の再任決定

- ＊ ブロック幹事は、当初７００名会員につき１名と言われていたがいつの間にか８００名に１名となっている。変更について一切の連絡が無いが？
- ＊ 愛知　→　岐阜　の順番で幹事を選出している。今回は三重県から選出したらどうか？
- ＊ 輪番制にする必要は全く無い　（三重県から）
- ＊ 全国本部は、遺族でも良いとの決まりがあるが、岐阜県には決まりが無い。会則の変更を要するが、本部の法人化の動きもあり務めたい。（長谷川さん）

議題―２　全国本部会長及び監査役の推薦　→　今回は推薦候補無しに決定

議題―３　東海ブロックからの意見・提案

岐阜県：患者１１７３名に対し１８６名の会員で１６％台。保健所との連携強化
愛知県：会員の自然減が多い。　５月１日に総会開催予定、年中行事の説明
三重県：会員１７８名。昨年対比１０名増　４月４日総会＋医療講演会開催予定
　　熊野方面の会員は、和歌山県の行事に出席、三重県友の会と連携
静岡県：会員は３８名入会―２２名減　　県内を「東・中・西」の３ブロックに分け、中部が企画して「東･中・西」が運営する
　　＊行事への参加に、ボランティア運転手（大学生）の利用
　　＊行事はマスコミによる案内、来場者への返礼（葉書）で会員獲得。

議題―４　長谷川副会長より、本部活動報告
１．全国役員会出席
２．３４回全国大会・大阪支部の若年部会の開催について
３．本部役員改選
４．全国友の会組織部→社団法人・NPO法人に決まった経緯は何か？

以上

〈困りごと相談—18〉

～転倒問題～

平成22年4月　50号

〈相談の内容〉
すくみ足がひどく転倒が多い。骨折して何度も入院しました。家の中ではカートや杖を使っていますが、それでもバランスが崩れて転倒します。
薬の処方や日常のリハビリの面で改善出来る事がありましたら、教えて頂けないでしょうか。

患者さんの状況：例１、例２を提示しましたが、他にも多くの方が同じ問題を抱えておられます。大きくて広範な問題ですが、よろしくお願いします。

例１：Ａさん　６０才 女性.　４０歳の時にパーキンソン病と診断され、２０年になります。平成１９年にＤＢＳ手術を受けましたが、動けない、すくみ足、転倒の状態は術前術後も変わらず、未だに転倒～骨折～入院を繰り返しています。アーテンを飲んで転倒が改善された方がおられたそうですが、私にはアーテンの効果は全くありませんでした。
パーキンソン病の薬は、L･ドーパーBのみ１日３回（１錠×３回）で少ないような気がしますが、処方面からも検討の余地はございますか？

Aさん：現在の薬の処方は下記の通りで、この数年は変わっていません。

・胃腸剤－１	２錠	（朝夕）	
・胃酸抑制剤	２錠	（朝夕）	
・造血増進剤	３錠	（朝昼夕）	ビタミン剤
・痰除外剤	２錠	（朝夕）	痰の粘り気を低下させる
・胃腸剤—２	１錠	（朝）	
・睡眠導入剤	０.５錠	（朝）	
・L・ドーパーB	３錠	（朝昼夕）	

例２：B さん　女性　５０才　５年前に４５才で発症。　すくみ･無動が顕著でバランスを崩してよく転倒します。現在の薬の処方は下記の通りです。

・L・ドーパーB	１錠	
・ドーパミンアゴニスト	２錠	非麦角系
・抗うつ薬	１錠	
・レナグン (?)	１錠（５ｍｇ）	１ヶ月前から服用を開始

以上

〔困りごと相談－１８：転倒について平山先生からの回答〕

パーキンソン病で問題となるのは、体の硬さは薬で改善するが、手の震えや歩きにくさはなかなか改善しないことです。
このすくみ足にも、２種類あります。
〈その１〉･･･　OFF の時にだけ出現するすくみ
〈その２〉･･･　OFF でも ON の時でも出現するすくみです。

〈その１〉
OFF に出現するすくみの場合には、脳の中にあるドパミンが低下しているために起こるので、その場合にはドパミンの脳内での低下を防ぐ治療になります。L—dopa の頻回投与やドパミンアゴニストの追加、コムタンやエフピーなどによる脳内でのドパミン低下を防ぐなどの薬物治療で改善します。

〈その２〉
しかし、いつも出る場合には問題があります。なぜなら、決して脳の中にドパミンが不足している訳ではないので、ドパミン製剤を飲んでもあまり効果がありません。
ON でも見られるすくみ足や姿勢反射障害という転びやすさに関して、残念ながらその病態の機序はわかっていません。今のところ考えられているのは、前頭葉という運動に関係した脳の部分に異常があるのではないかということです。

そこで、いろいろな薬剤療法が試みられています。まず、すくみに有用なのは、ドプスというノルアドレナリンの前駆物質の薬剤です。
ただ、この薬はすくみに効果があるとして発売されたのですが、その後にその効果を検証した報告があまりありません。
最初に試みる価値はありますが、なかなか期待どおりには、いっていないのが現状です。

他には、前頭葉の機能低下が関係しているということで、認知症の治療薬であるアリセプトに効果があるとする報告があります。また、脳の中のアデノシンというところに関係がある可能性があるということでカフェインに効果があるとする報告もあります。

しかし、まだまだ薬物療法は効果が十分ではないので、リハビリや生活習慣の改善がもっとも効果があります。
まず、すくみ足などは何か障害物があると出やすいので、家の廊下にはなるべく余分なものは置かないようにします。

また目印があると歩きやすいので、家の中ならば足下に印をつけるようにします。また、杖からレーザーポインターで光が出て足下に目印が出るものがあります。
またパーキンソン病の患者さんは、リズムが悪くなることが知られています。我々の大学でも音楽療法を行って何とか歩くというリズムをもう一度学習するように練習してもらっています。

定位脳手術後に以前よりも動きやすくなったのに、突然なんでもないところで転ぶという方が多く見えます。
これについてはまだわかっていませんが、私の考えでは、定位脳手術はあくまでも視床下核という部分が異常に興奮しているのを押さえる治療で、歩行のプログラミングなどをよくするわけではありません。

たとえば、スポーツ選手でもけがをした後に少し筋力が低下しただけで、自分が思っている動作と実際に動かせる筋肉に差があってうまくできないことがあります。
パーキンソン病の定位脳手術で、自分のできると思う動作と実際に動く動作に乖離があって、そのために転ぶのではないかと思っています。

以上

服部神経内科　本町クリニック

〒460-0008　名古屋市中区栄　3 丁目 20-29
院長　服部達哉　　副院長　服部優子

診療時間

時間 ＼ 曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前 9：30 ～ 12：30	○	○	○	／	○	○	／
午後 3：00 ～ 6：30	○	○	○	／	○	／	／

この他に祭日は休診とします

電話　０５２－２４９－０１０１

医療講演会盛り上がる

春日井市　**益田　利彦**

22年2月20日（土）　一宮スポーツ文化センターに於いて医療講演会を開催。 講師は
名古屋大学　平山正昭先生、演題は 「パーキンソン病の病態と治療」 でした。
平山先生には、昨年6月の岡崎市、10月の春日市に続いて3回連続して講演していただき、何れも多数の受講者で盛会裏に終えることが出来ました。不自由な身体に鞭打って大勢の方のご参加をいただき、ありがとうございました。

講演はパーキンソン病の基礎知識を中心に分かりやすく説明され、専門的研究成果等も交えての講演をしていただきました。講演の後は第2部・質疑応答ですが、会場からの質問に懇切丁寧に対応下さいました。今回も多数のご参加を得られたのは、ひとえに平山先生のお名前によるものと御礼申し上げます。

一宮市で医療講演会を開催するのは平成14年以来7年ぶりですが、お蔭様で地元のニーズに応えることが出来ました。これは下記の 「一般参加者状況」の分析結果からも伺えます。
ご協力ありがとうございました。

・・・・ 医療講演会一般参加者の状況 ・・・・・

1. 一般参加者 99名 ＋ 友の会会員 40名 ＝ 参加者総数 139名

2. 住所別区分 ・・・ 愛知県が91名というのは理解できますが、他県からの参加者（岐阜県:8名、三重県:1名）が多いのは驚きでした。
また愛知県も東は岡崎から南は知多市・半田市と広範にわたり、地域巡回の必要性を改めて痛感しました。

一宮市:43名　名古屋市:18名　豊田市:5名　小牧市:4名
岐阜県:8名　三重県:1名　その他（17地域） 60名

3. 種 別 ・・・ 患者 44名　家族 34名　医療介護者 1名　一般 20名

4. 講演会の情報入手源
新聞 68名　保健所 4名　病院 6名　その他（紹介） 21名

5. 電話での問合せ件数　56件

以上

パーキンソン病医療講演会開く

（H２２/2/２０）

南区　山田　良知

医療講演会を開いても、一体何人の人が集まるか心配が多いのも事実です。
パーキンソン病医療講演会が一宮市で開催されました。会場は一宮市スポーツ文化センターで、開演時には我々の心配を吹き飛ばすが如く約１５０名の聴講者で一杯に埋まりました。

特別講演の講師は、名古屋大学医学部神経内科・平山　正昭先生です。
「パーキンソン病の病態と治療」と題して約１時間に亘って、パソコンを投影しつつパーキンソン病についての初歩的な内容全般についてのお話があり、続いてパーキンソン病のメカニズムについての講話がありました。

熱心に聴き入る約 150 名の聴講客　（鷹羽勝造さん撮影）

その後の質問でも、手の振るえ・DBS の外科治療・薬の飲み方・水分の摂り方・日中の予期せぬ睡眠・パーキンソン病と心臓弁膜症・排尿障害・体が傾く等々。
医療講演会の質疑応答も１時間取りましたが、障害を持った方々からの質問が多くこの病気に取り組んでおられる平山医師からの的確な解答がありました。

医療講演会はパーキンソン病友の会愛知県支部が主催し、運営は会員がボランテイアの活動として取り組んでいます。
講師の平山先生もボランテイアでご協力いただいています。平山先生は会の相談役として、友の会の運営上の助言や会報でお馴染みの「薬の話」、「困りごと相談」等々献身的なご指導を頂いています。
パーキンソン病愛知県友の会としても大きく助けて頂き、誠に嬉しい限りです。

岡崎市・春日井市での講演会に続いて、今回の一宮市でも満席の聴講者を得ました。患者、家族の方たちがこのような医療講演会をいかに必要としているかを再認識させられた次第です。これからも各地で開催の予定ですので、ご期待下さい。
開催にあたりご協力頂きました一宮市、保健所、市の機関、病院及び製薬会社のボランティアの皆さん、ありがとうございました。

毎年国会請願の署名運動にも力を注いでいます。もしもパーキンソン病の方が身近なところにおられましたら、愛知県友の会への加入を勧めてみてください。

Medtronic

明日の笑顔を

パーキンソン病などの
不随意運動と闘う
多くの患者さまに
「明日の笑顔」
を取り戻していただきたい。
それが私たち
メドトロニックの願いです。

日本メドトロニック株式会社
http://www.medtronic.co.jp

三回忌＆５０号記念

会報 50 号、発行に思う事

東海市　**肥後ひとみ**

故丹羽会長が愛知県版の会報を作ろうと一人で 2000 年に初刊を発行され、私は 5 号から編集に参加させて頂きました。
まだパソコンを始めたばかりで文字入力しか出来なくて、悪戦苦闘しながら会報を作っていました。文章と言えば書くのが大大大の苦手なもので、なるべく文字を書かなくて済むように絵や図を多く使い、文字も大きくして初心者なりに都合のいいように工夫して書いていたものです。

この 50 号記念が企画されたことから、何号から始めたのか調べていた時に初めて書いた原稿が出てきました。懐かしいやらお粗末なものやら、恥かしくなりました。
でもまあ～、素人がやっていることということでお許し下さい（笑）。

そんな私に、丹羽さんが文章の書き方を教えて下さいました。初めの頃は、書いてもやり直し、よくても半分以上書き直しをされたりしていました。
それでも名古屋で「友の会全国大会」を開催した時（平成１９年）に体験発表の文章を書きましたが、少し直されただけに留まりました。でも、そのままということは一度もなかったです。やはり、文章書くのが下手なんですね。

そんな丹羽さんの文章の書き方です。

◎ 自分の話す言葉で書け。飾った言葉・丁寧言葉を使っていると言葉が続かない。
◎ 余分なものは省く。例えば何月何日何時何分何処何処へ行きました、というような読む人にとっては関心がないことは不要。何処何処に行っただけで良いと。
◎ です・ます。口調にならない。これは一番難しいですね。どうしても、です・ますになってしまいますね。

まだ気をつけることがあるのでしょうが、初心者の私にはこれだけ教えて頂きここまで書けるようになりました。今では人様の前に出せるようになったかな！？　と思っていますが、空の上から「まだ、まだ」と聞こえてきそうです。

愛知県会報は、全国の会員さんに読者がいます。それに著書を読まれて手紙を送ってこられる方など今だに後を絶ちません。それだけ丹羽さんの書かれた言葉一つ一つが共感でき、自分も「明るく　楽しく　生きよう」と思えるのではないでしょうか？
（丹羽浩介著：『もうパーキンソン病と呼ばないで』は、第３刷に入りました）

丹羽さんが『もうパーキンソン病と呼ばないで』や『会報』を出版した目的は、
一人でも家の中に閉じこもっている患者さんを外へ誘い出したい。一度しかない人生だから、完治する事を信じて「明るく　楽しい　毎日を」過ごして欲しい。今落ち込んでいる人を勇気付けてやりたい、服装も明るい色の服を着るように　と、ピンクのＹシャツで言われた事がありました。
そこまで考えておられるとはさすがだなと感じいったものの、私にはとうてい真似の出来ない事だと痛感しました。

丹羽さんは少し暇があると電話をかけてくるのですが、途中で話し声がしなくなったと思ったら、寝ていたということが度々ありました。
役員されている方なら一度や二度はあるのでは？　なにぶん睡眠時間が２～3 時間でしたから……。　そりゃあ～、眠いはずだ！！
丹羽さんの教え；

「後ろを振り向かず前を見て、くよくよしないで ATM」

でいきましょう！！

丹羽さんが抜けた穴は大きいけれど、役員全員力を合わせてカバーしてきました。
これからも、空の上から私たちを見守っていて下さい。

編集されている皆さん　頑張って。　丹羽さんが言われていた；

愛知県支部会報を、日本一の会報に！！

して下さい。

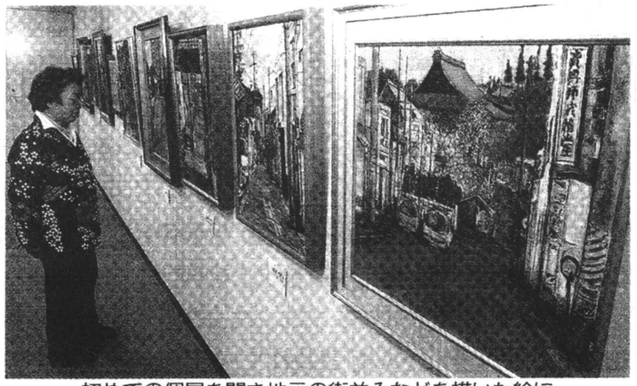
「パーキンソン病罹患１０周年・記念個展」

事務局（池田）

愛知県パーキンソン病友の会の会員で岡崎にお住まいの浅井志津子さんが　首記の個展を開催されました。 連日の盛況で、友の会からも多くの会員が行かれ、5 日間で総勢 786 名の入館者を得たとの事です。

難病10年闘う主婦

「心で描く」初個展



初めての個展を開き地元の街並みなどを描いた絵に見入る浅井志津子さん＝岡崎市の殿橋ギャラリーで

岡崎市松本町の主婦　制作した絵と能、狂言の面などを展示する初個展が十七日、同市明大寺本町の市美術館分館殿橋ギャラリーで始まった。パーキンソン病を患って十年の浅井さんが「絵は心で描ける」と力のこもった作品を並べている。二十一日まで。入場無料。

浅井さんは、学生時代に美術を専攻。岡崎中日文化センターなどで絵画を学んだ。ところが、十年ほど前に発症し、年々症状が悪化。一時は足が思うように動かず「死にたい」とまで思ったという。

ちょうど一年前の昨年二月十七日に入院し、手術で日常生活が送れるまでに回復。現在は、夫利一さん(七一)の運転で、富士山のふもとや東北地方まで、スケッチ旅行に出かけている。

展示作品は、地元松本町の街並みや身近な草花、家族などを描いた油彩、水彩、ペン画など四十六点と「小面」などの面二十二点。入院中の病室にスケッチブックを持ち込むほど絵画好きな浅井さんの軟らかく、温かみのあるタッチが楽しめる。

浅井さんは「まだまだ描きたいものがたくさん。進行する病気だけど、いつまでも描き続けたい」と笑った。

（中野祐紀）

岡崎の浅井さん　**油彩や能面制作、展示**

～平成22年2月18日　中日新聞・三河版が伝える個展の記事～

症状の進行に負けてなるものかと気持ちを奮い立て、お好きな絵（油彩・水彩）と能面打ち（般若面など）に向き合って共存されておられます。 そしてこれを支えたのがご主人であり、4 人のお子さんと 10 人のお孫さんと総勢 16 名のご家族です。
下欄の油絵を見て、実にほのぼのとした暖かい空気が感じられて羨ましくなりました。ご子息・ご令嬢ともに、会場でもは甲斐甲斐しくお客の対応に務めておられました。

総勢 16 名の浅井家ご家族の肖像画
（春には、2人増えて 18 名との事）

来館者の中には、
「私も同じ病気なので、見せて頂きに来ました。お話しを伺って私も元気が出ます」 という方がおられ、嬉しくなったと言っておられました。

浅井さんは辛くても苦しくても何時もニコニコしておられます。
最初お目にかかった時から、「この人は本当に患者だろうか？」と思っていましたが、パーキンソン病の患者さんは長らく病と闘っておられる事から、苦しい表情を決して外に出されません。
改めて敬意を表します。

今回の個展を通じて、「自分は一人ではない、という事を切実に感じた」 と申しておられました。 これぞ友の会の理念であり、究極の理想でもあります。
お互いに助け合って、苦しみを分かち合い少しでも症状を軽減することが出来ますことを期待します。

同　志

岡崎市　**浅井志津子**

個展を開催してありがたいと思ったことの一つに、「一人ではない」 ということを痛切に感じた一週間でした。
3 年前パーキンソン病の症状が進む中で、罹患 10 年を目標に個展を開こうと思い立ちました。 取りあえず夫の協力を得てからは毎日、「個展、個展」と考えながら、薬の効いている時間は作品作りに明け暮れしていました。

昨年の暮頃になるといよいよという思いが募り、案内状を作ったり、目録を作ったり、作品のレイアウトを考えたりして頭の中にパーキンソン病の席が無くなるほど個展という文字がいっぱいで、個展の事をあれこれ思って過ごすことが出来ました。

展覧会初日の朝になって初めて、「開催して果たしてどのくらいの人が来て下さるのか？」心配になりました。
ところが、初日に名古屋からパーキンソン病友の会愛知県支部やレインボウの会（岡崎パーキンソン病患者の会）の人達が来てくださり、私が思っていた人数をはるかに超える人達が来展され、中には懐かしい人達との出会いもありました。

会場の光景

2 日目の 18 日（木）は、中日新聞朝刊の三河版に4段抜きで紹介され、どんと人数が増えました。パーキンソン病に悩まされている人からの相談が多く、まだまだお一人で悩んでおられる人の多いことも知りました。

三日目の 19 日（金）は、又会愛知県支部の人達がたくさん見えて会場を盛り上げて下さり、嬉しい一日を送ることが出来ました。
私のためにお忙しい一日を空けて来て下さった友の会の人がこんなに沢山みえたということは、これからの私の患者としての心の生活が保証されたという実感を持ちました。

何が起ころうと解り合える人がいる、相談に乗って貰える人がいる、愛知県パーキンソン病友の会の会員であったことに感謝し、音楽療法の会員であった事に感謝しております。

愛知県友の会の仲間と音楽療法の鵜飼先生と鈴木先生（前列右から）

私は一人ではない、仲間がいる、同志がいる。 本日一番感じたことがらで、なお且つ生きる力となることです。人と人とのつながりを感じた私にとって人生の素晴らしいイベントになったことを、ここに感謝すると共に、お礼を申し上げます。

冬の一日交遊会・まとめ

交遊会担当

日本選手の活躍が、毎日のように報道されていた「冬季バンクーバーオリンピック」も終りました。
「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言いますが、早いものでもう4月です。

2月25日（木）一日交遊会を前回と同じ名古屋市北区生涯学習センターで開催しました。当日は2月にしては暖かな一日で、申込みされていない方の参加（数名）もありまして楽しい集いとなりました。
鵜飼先生による今回のボイストレーニングは、春の花の「梅・たんぽぽ・ちんちょうげ」の3グループに別れて輪唱したり、合唱したり、幸せのワルツを全員で歌い、明るく・楽しい・時間を持つ事が出来ました。
鵜飼先生は交遊会の度に新しい試みを組み入れて楽しませて下さり、一同感謝しています。先生ありがとうございました。

昼食の後40分程のお話し合いでは、「調子の悪い時はどのように過ごしているか？」のテーマに基いて皆様のお話しを伺いました。その詳細は別紙にまとめましたので、皆様の参考になれば幸いです。

午後からのリハビリテーションは埜口先生です。大きな声でリハビリのアドバイスをして下さいます。体を動かすのが無理と分かる人には、「この動きは無理だから、止めなさい」とやさしくご指導下さいます。
「さぁ～、ゲームですよ！」　今回は、楽しい、楽しいポッチャーゲームでした。ゲームになると、皆さん俄然元気が出てきて張り切りますね。いつもの如く、時間オーバーです。

後片付けをしながら、先生に言ってみました。「体操の時間もゲームをしたいわ」と。当然の如く、先生から叱られました。埜口先生、ありがとうございました。
ティータイムで解散です。皆様、ありがとうございました。

皆様へ　･･･　参加された皆さん、お疲れさまです。感想、ご意見をお聞かせ下さい。
次回は5月29日（土）に「ブルーボネット」を計画しています。今回参加できなかった皆さんも、花咲き誇る初夏を一緒に楽しみましょう。詳細は当号で案内していますのでご覧になられて、振るってのご参加をお待ちしています。

担当：後藤サヨ子　伊藤フサ子　伊藤岳枝

別紙：冬の一日交遊会・「お話し会」のまとめ

昼食後の「お話し会」で、発言された中から抜粋したものをまとめてみました。もし発言内容に違いがございましたら、なにとぞご容赦願います。

テーマ　：　**体調の悪い時はどのように過ごしていますか？**
司　会　：　**益田　緑さん**

§1．テーマに対する皆様の取組み方法のあれこれ

テーマに対する取り組みを、勝手に静観型・気分転換型・挑戦型に分けてみました。別に意味は有りませんが、それぞれ効果を発揮しているようですよ。

（1）静観型
A さん：体を動かすのが大変な毎日です。1日が辛くて、どのように過ごそうかと思う毎日です。
B さん：私はじっとしているか、パソコンを操作して気を紛らせている。
C さん：家にいれば、ごろごろ寝て静かにしている
D さん：薬が切れると動けなくなるので、外には出ない
S さん：いろいろ心がけていますが、なかなか思う様にはいきません。

（2）気分転換型
B さん：私はじっとしているか、パソコンを操作して気を紛らせている。
E さん：テレビ鑑賞、外出を心がけている
F さん：歌を聴いて楽しくなるよう心がけている
G さん：悪くなる前に体操をする。外に出て歩く。

（3）挑戦型
I さん：365日辛いです。辛い、辛いと言っていては何も出来ないから、動ける内は動く様にしている。又、動けることに感謝している。
R さん：昨年、DBS の手術をしました。今は通知表で言えば1と5が無くてオール3かなと思う動きしか出来無い。膝が動かなくて、ヒアルロンサンが効くと聞いて10回にわたって試してみたけど効きませんでした。鍼の方が少し効いたけど、鍼で治るとは信じていない。喉の異常を感じて、発声を心がけている。

皆さん、それぞれの方法で病に対処されておられます。決め手になる方法が無いだけに、ご苦労の程はいかばかりかとお察し申し上げます。一日交遊会がその手助けの一つになる事を願って、これからも続けていきたいと思います。　担当より

§２．別の症状の悩みについて

（１）構音障害

Ｊさん：なんとなく、前より声が低くなったような気がします。これも病気からくるものかと思ったりします。

Ｒさん：前出・§１－３で喉の痛みから発声練習を心がけておられます。

（２）痛みの発生

Ｋさん：悪くなると腰が痛い

Ｌさん：薬が切れてくると痛くなります

Ｍさん：やっぱり腰が痛いと足の動きも悪いですね

Ｎさん：夕食の準備が一番辛いです。休みながら献立をするのですが、背から腰にかけて痛みが走るのです。休み休み作っている毎日です。
対策としては腰を暖めています。

埜口先生　・・・・腰が痛い理由

① 膝の屈伸が難しくなった場合

② 足が上がらなくなるから、骨盤を上げて歩く　…　ストレッチ体操が良い

③ お勝手の動きは横の動きが多く通常の動きと違うから、この病気の人には無理がかかります。無理をしないように。

（３）転　倒

Ｏさん：体が後に倒れる

Ｐさん：体が前に倒れて転ぶ

Ｈさん：足を揃えて立つと転びます。片方の足をずらして立つと良い。

Ｙさん：朝，起きる前（お布団の中で･･･）に背伸びをしてから起きる。背伸びをして足を４～５回、上に上げてから起きるようにしている

埜口先生　･･･　かかとに力を入れて立つと後に転ぶ　前に屈むと前に転びます

（４）症状軽減の一例　･････　嬉しい話で、もっと詳しく知りたいですね！

Ｑさん：以前はジスキネジアが酷かったですが、最近は小さな動きになった。

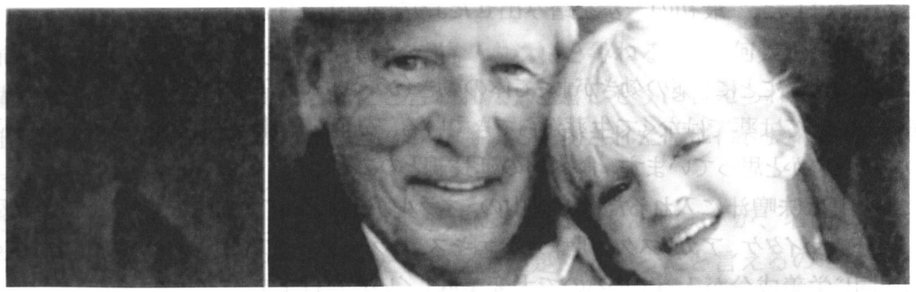
（５）その他の症状

Ｔさん：すくみ足が出て困っている（狭いところ）

最後に埜口先生から下記の感想と注意がありました

今日は少し安心しました。姿勢保持障害の皆さんが、手も足も高く上がるから体操は続けて下さい。普段はやらないで、交遊会があるからといって３日前から始めたりするのは駄目ですよ。毎日の積み重ねが大事なのです！

いろいろ悩みがありますね。めげずに「明るく　楽しい　毎日を」でいきましょう。



新薬で人々のいのちと健康に貢献します。

どこかで病気と闘っている患者さんのために。
健やかな明日を願うすべての人のために。
ノバルティス ファーマは革新的な医薬品を提供し続けます。
ひとつひとつの輝くいのちを見つめながら。

NOVARTIS
ノバルティス ファーマ株式会社
〒106-8618 東京都港区西麻布4丁目17番30号
http://www.novartis.co.jp/

初めの一歩

あま市　**横井千代子**

ひまわりの会に参加するようになり、一年が経ちました。ひまわりの会に入ったばかりの頃、ひまわりの会の方達から「電車で、一人で来てみませんか?」と、お声をかけて頂いたことを思い出します。

いつもは外出に自信がないため、娘が車で送迎をしてくれています。ところが一月のひまわり会のときに、急に娘の都合が悪くなって送迎して貰えなくなりました。
「どうしよう？　歩いて電車に乗ってなど行ける訳ない、止めようか？　でも行きたい！」と悩んでいる時に、「電車で一人で来てみませんか?」の言葉を思い出したのです。
勇気を出して、電車で行ってみる事にしました。ご近所にお住まいで友の会役員をされておられる伊藤フサ子さんもひまわりの会に毎回出席しておられます。 伊藤フサ子さんにご一緒させて頂けるよう、お願いしました。

当日の朝、不安の余り伊藤さんに「やっぱり、止めます」と伝えましたが、伊藤さんからは「せっかく決心された事だから、思い切って行ってみましょう」と励まされました。伊藤さんを困らせてしまいましたが、逆に背中を押していただきました。元気を貰って決心がつき、本当に感謝しています。ありがとうございました。
実は、10年ぶりに電車に乗りました。目の前がパッと明るくなり、とても嬉しくて、嬉しくて少し自信がつきました。 最初の一歩を踏み出せたような気がします。

更に最近嬉しいことに、薬の効きがよくて体の動き(ジスキネジア)も少なくなってきました。
その理由としては薬ではなくて生薬からできている、安全な健康食品を食べていることにあるのではないかと思っています。食べ物の延長線とのことです。
特におだしは味噌汁に入れるだけで沢山のミネラルが摂れるんです。カキ肉、シイタケ、ホタテ、シジミ、マイタケ、アガリスク、朝鮮人参エキス、コラーゲンペプチド、ロイヤルゼリーなど、食品と同じ栄養成分が入っているので大変美味しくいただけます。

添加物や体に害になるものが一切入ってないと聞いていますので安心しています。食べ物だけでは摂れないミネラルを沢山摂れるので、便通もよくなりました。 お蔭で最近は、気持ちが元気になってきたようです。

明るく 楽しい 毎日を過ごす努力を、これからもしていきます。

名前のはなし

緑区　**池田　冨美子**

ある日母から私の名前の冨という字は、父がウ冠の点を書き忘れた為にワ冠になったと聞かされました。父は「最初からワ冠に決めていた」とこれを否定していましたが、役所へ届け出をして帰宅した父が「あっ、点を付けるのを忘れた！」と言ったという母の話の方がより具体的で真実味があります。

実際のところはともかく、私はどこか一本抜けているところを自覚する度にこの事を思い出し恨めしく思っていました。その後ワ冠の同じ名前のステキな方々がいらっしゃる事を知り、なおさら余計ないきさつなど聞きたくなかったと痛感しています。同じ名前のよしみで、その人達に少しでもあやかることが出来ればと憧れるだけでも良かったのに・・・と。

「名前はその人の一生を左右するくらい大切！」と聞いたこともあり、名付け親の思いが分かるような名前、オシャレな名前の方に出会うと羨ましく思っていました。
が、歳を重ねるに連れ、気付いたことは、自分の方がこの事を言い訳にして手抜きして生きて来たのではないかということです。　そして無意識の内に自分の努力不足を責任転嫁していたのかも知れないと思えて来ました。

以前、渡された名刺を見て「珍しいお名前ですね」と尋ねると、「何人かの人から、事業を興したら成功する良い名前だと言われた」と嬉しそうに答えられた人の事を思い出しました。きっとその人は、この事を励みに成功された時には、良い名前を授かったと感謝されることでしょう。
また、「名前負けしている」という言葉を耳にすることもありますが、名前に押し潰されたのではなく、これを跳ね返すだけの努力が足り無かったと言えるのではないでしょうか？　逆境をバネに大成する人、恵まれた環境に気付かず不平不満の多い人や、またその逆の人達、人それぞれだと思います。

今まで私は、名前に限らず、親子・兄弟の縁、財産の有無、病気の罹患、容姿等は宿命で、その良し悪しにより、人の運命は、ほぼ決まっているような気がしていました。けれども、最近では、自分の持って生まれた宿命とどう向かい合うかにより、人生も変わるものだと思っています。　これを機に、今迄のこだわりを捨てて、自分なりに日々励み、少しでも満足感を得ることが出来たなら、それで充分だと思えるようになりました。

新春コンサートで知った「ビリーブ」の意味

安城市　**林　三紀子**

林さんの原稿は、４９号の印刷所発注後に届きました。残念ながら、時期的に遅れてしまいしましたが、「新春コンサート」感動の余韻は今でも鮮やかに残っております。平成２２年のコンサートの予定は現段階では未定ですが、初夏頃から練習が始まりますよ。林さんの原稿をお読みになって、ご参加ください。　（池田）

元日は、毎年恒例の家族が集まる日です。長男は一姫二太郎、次男は二姫を連れて計１１人の賑やかな年初めを迎えました。
昨年は中華料理バージョンのもてなしでしたが、今年はおせち料理は無し。主人が鍋・孫好物の鳥の唐揚げ・寿司にしました。おせち料理作っても若い者は箸つけないからと止めたものの、やはり物足りなかったな～。

普通の家庭では台所に主婦が立ち、ご主人様は和室で皆が揃うのを坐って待つのに、我が家は主人が台所、私は椅子に坐り皆を待った。
食事が終ると私は孫のお守りで活躍発揮、喧嘩しないように目配り気配りをする。
４時頃夫々自宅に帰って、主人と二人で孫の成長を語る。

２日、久々にパソコン開いたら１通のメールが入っていた。何気なく打った返信が初笑いのネタになった。今思い出しても笑える、おっちょこちょいの私丸出しで書面ではタブーに。

３日、「ビリーブ」の歌の練習時間が少なく、鵜飼先生の声で皆に練習用のＣＤを作って頂いたのでそろそろと練習で聴くと、鵜飼先生の「皆さんこんにちは」。
思わず私も夜でも　「こんにちは」と返して一緒に口ずさみました。詩をよく読んでみると、今まで気がつかなかった「信じる」という詩の意味が分かってきました。

１月１２日　コンサート最後の練習日。毎度の３人で食事をし、メールの話で盛り上がった。ドジな私は又もや恥のかきっぱなし。隣の席の方も笑ってた。お笑いは良い事とポジティブに解し、ナディックに着くとさり気無く新年の挨拶を交わす。皆さんの歌の練習の成果が出て、鵜飼先生・鈴木先生・皆の意見を出し合い、本番に向けました。

１月１５日（金）　本番の日、心配症の私は１人で行かねばならない。集合場所が中央診療棟３階（講堂）、一応下見しているので外から行けるが、時間潰しに名大レスト花の木に行った。誰かいるかと期待したが誰も居ない。外は寒いし、エレベーターで３階に行けば何とか行けるのでは？　と歩いていると鵜飼先生の友人の方に声をかけられた。私は薬を飲んで間もない時間でゆっくりの歩調でしたが、私に合わせて下さいました。

講堂にて最後のリハーサル。急遽鈴木先生のお嬢さんが指揮をされることになった。指揮に合わせて歌う。小学校の時の合唱コンクールに行った時の事を思い出した。
中央棟２階リハビリ広場に移動し、いよいよ本番というときにアクシデントが起きた。ピアノの音が出ない。逆に私はこれでリラックスできました。
プログラム第１部に、私達愛知県パーキンソン病友の会会員とその家族が半年かけて練習した「ビリーブ」の歌とトーンチャイム、鵜飼先生と鈴木先生作成のＢ紙４面に書いてあるトーンチャイム番号の下が見えなくて間違えた。

１部：「見なくてもできるくらいの練習を」と訓練に臨んだが、今では反省しきり。でも、参加できた事は大きな喜びでした。
「一月一日」　「ペチカ」　「雪の降る街を」をしっかりと歌う。鈴木先生のお嬢さんの喜んでおられるお顔が印象に残った。

２部：中部学院大学・中部学院大学短期大学部ハンドベルクワイヤの皆さんの披露
ハンドベルにも大中小があり、鳴らし方も逆に持ってベルを打つと違った音色が出るんだと初めて知りました。
私達患者も５種類のハンドベルで演奏し、「ドレミの歌」を合唱した。

３部：皆さんご一緒に
「幸せワルツ　ＡＴＭの歌」　～星影のワルツの替え歌を会場のお客さんを含む全員で合唱した時、目に涙がうるるっとききました。全員が一体化する喜びの一幕でした。

私も今年で病歴５年目を迎え、現状維持と頑張ってきましたが、甘くはなかった。
しかし、Ｙさん・Ｋさんの奥様をみていると、初めてお会いした時に比べて背筋が伸び、頭も高く上がってきたように感じる。
先輩方の勇気と希望を頂き、仲間を信じ、主治医を信じ、真剣に取り組んでいただくボイストレーニングにも参加させて頂き、励ましあってパーキンソンと仲良く付き合って生きて行こうと決心を新たにしました。

ねこ物語―（６）

～本性～

蒲郡市　**佐々木義祐**

もうこれまで、五編に亘ってネコの習性を述べてきたが、今回はネコの本性の一端を記述してみたいと思う。
ネコは雑食性である。であるからして、時折狩りをする。たとえば、家で飼われているネコであっても、たまには、ネズミを取ってきたり、カエルを取ってきたり、トカゲを取ってきたり、時には思わぬ物を取ってきて飼い主を驚かすことがある。

子供の頃、ある時の体験から夜中に目が覚めると、枕元にボーッと青い光が光っていた。最初、寝ぼけているのかと思い目をこすったけれども、やはり、ボーッと見えて、ちょっと手を伸ばしても何かわからない。
もっと手を伸ばしてギョッとした。何かビチャッとぬるぬるした、冷たい物体が手に触った。
思わず、手を引っ込めた。胸がドキドキしてきた。「何だろう」と。そして恐くなって、上にある電燈のスイッチの紐を引っぱった。

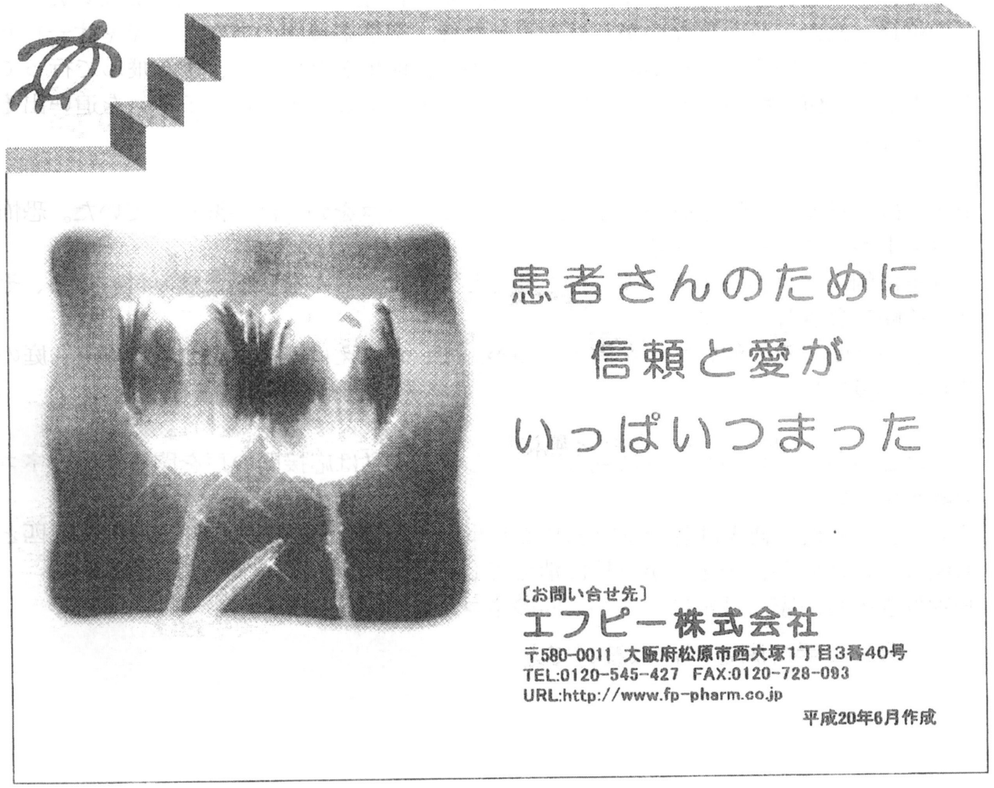
すると、その正体は土にまみれた魚の頭であった。その骨が燐光となって、ボーッと光っていたのである。「誰がここへ持って来たのだろうか？」　むろん犯人は我が家のネコであった。
そして、我が家のネコは代々スズメやツバメ等、小鳥類を獲るのが得意であった。ある時、誰もいないはずの隣の部屋が急に騒がしくなって、何事かと思わず覗いて見たら、何とネコがスズメを獲って来て、例のごとく、なぶりながら遊んでいたところであった。

初めて体験したことだけれども、ネコ族は自分が獲った獲物は、すぐ食べてしまわずに、生きている状態でしばらく遊びながら弱らせ、死んでからおもむろに食べ始めるという、ある見方をすれば極めて残酷な習性を持っている。
野性の頃からの本能がなせる業であろう。そして、試しに　そのネコの獲物を横取りしてみた。

すると、ネコはすさまじい勢いで必死に奪い返そうとした。私は、ネコの飼い主の一人であり、ネコも自分が飼われていることを充分に認識しているはずであろうから、すんなり渡すと思っていたが、さにあらず、必死に奪い返そうとする。
しかし、よくよく考えてみると決して私に対して立ち向かって来たのではなく、注意深く獲物だけを奪い返そうとしたのであった。

そして、ある時に我が家のネコがスズメの狩りをする場面を目撃した。最初縁側でネコがボーッと座っていた。隣の畑を見渡していたので、私も何気なくそのネコの様子と畑を見ていた。すると、突然ふっとネコが表情を変えたのに気が付いた。
そして畑を見たら、一群のスズメが畑に降り立って遊びだした。それを見たネコはするするするっと、隣の畑に潜り込んだ。それこそ抜き足差し足忍び足の言葉通りに実に上手に畑の畦に忍び込み、作物の中に潜り込んだ。

そして、私の方からはネコの姿は一切見えなくなった。が、しばらくすると思わぬ方向からバタバタバタと音がした。
ネコが一羽のスズメを銜えて我が家へ帰ってきた。狩りが、成功したのである。
ネコの側から見れば目出たし、目出たし！
その反対のスズメから見れば……。



ねこ物語－（７）

～やきもち～

蒲郡市　**佐々木義祐**

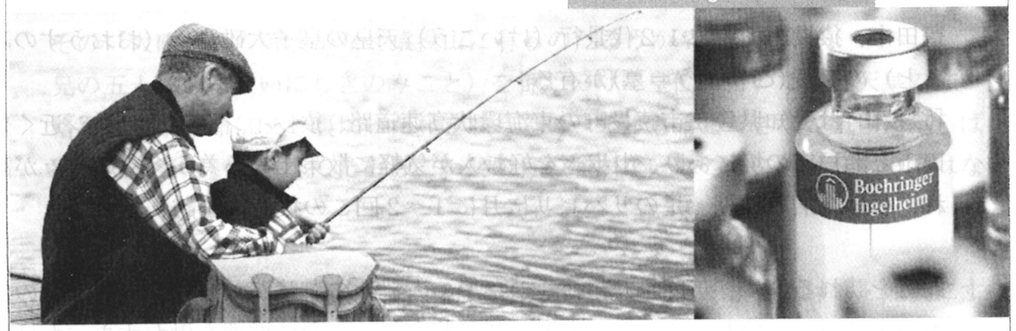
ある日の夕方早く外から自宅へ帰り着替えをしていたところ、応接間から庭を見ながら手入れの行き届いていない草むらの中で、何か小さな生き物がもぞもぞと動いているのが見えた。
着替えが終わった後庭のたたきに置いてある下駄を履いて見に行ったところ、どこから進入して来たのか子猫が一匹遊んでいた。

いつもはこの辺に居るはずの我が家のネコが不思議にそこには居なかったのに、何故子ネコがいるのだろうと不思議に思いつつ、まあいいわ…、可愛いなーと、手にとってみると捨てられたのであろうか、生まれてあまり日の経っていないのにやせてゴツゴツ骨が当たっており、餌もなしに何日か経っていたのか。
応接間に子ネコを置いて冷蔵庫から牛乳を出し子ネコに与えたら、むさぼるようにペロペロと飲んだ。

そして、ネコを部屋にそのままにしておき、隣の部屋でテレビを一人で見ていた。
どの位経ったか、分からないがしばらくした後、突然応接間の方から「ギャオー」と言う、すさまじいネコの声が聞こえてきたので、何事かと思って、すっ飛んで行ってみたところ、何と我が家のネコが帰っていて、すさまじい顔と声で子ネコを追い出そうとしていた。

子ネコはと見ると、腰を抜かして震えながらオシッコをいっぱい漏らしていた。恐怖で震え上がっていた訳である。
もう正に飼いネコが子ネコを噛み付こうとしていた。こんな状態で噛み付いたら、それこそ噛み殺されてしまう。
とっさの判断でその飼いネコを両手でつかんで、おまえは一体何をするのかと、庭の草むらへ投げ捨てた。

ネコはこっちをうらめしそうに見ていた。しかし、私は応接間の戸を閉めて飼いネコを締め出した。
そして、その後の結末は昔の事で忘れてしまった。そのまま二匹が仲直りして二匹とも飼っていたのか、子ネコが自然に消えてしまったのか。誰も覚えていない。
動物好きの我が家には常に一匹か二匹のネコがいた。

健やかな関係、ずっとあなたと。
Value through Innovation


私たちは画期的な新薬の開発に挑むグローバルな
製薬企業グループの一員です。
私たちは薬を通して、人と地域と世界と、
健やかな関係を築いていきます。
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
本社／〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
http://www.boehringer-ingelheim.co.jp/
Boehringer
Ingelheim

gsk GlaxoSmithKline
生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置く世界をリードする製薬企業です。抗うつ剤、喘息治療剤、抗ヘルペス剤、片頭痛治療剤、アレルギー性鼻炎治療剤、消化性潰瘍剤などの革新的な医療用医薬品や「コンタック」「アクアフレッシュ」「ポリデント」などのコンシューマーヘルスケア製品を通じて、人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。
グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル
http://glaxosmithkline.co.jp

「大碓命（おおうすのみこと）」の御陵（ごりょう）がなぜ猿投山に有る ？

豊田市　**山口　豊**

豊田市、猿投山山中に１２代景行（けいこう）天皇の皇子大碓命＝（おおうすのみこと）の御陵(ごりょう＝墓)が有る。
「猿投山」は愛知県豊田市猿投町の東海環状高速道路、猿投インターチェンジ近く豊田市と瀬戸市の境にあり、山歩きを好む人が気軽に散策出来る為か多くの人々が訪れ、私は発病の初期、足のリハビリに月に１～2回この猿投山を訪れていた。

此処を訪れる度に、奈良の大和朝廷の皇子の大碓命の御陵がなぜ猿投山に有るのか不思議に思っていた。そして、古事記に記載されていない推理を働かすきっかけを得た。
私の山歩きのコースは、菊石→猿投七滝→猿投神社西の宮→東の宮→猿投山、山頂のコースをとる。　西の宮の直ぐ後ろに宮内庁が管理する御陵があり「景行天皇・皇子　大碓命墓」と立派な宮内庁の表札が掲げてあり、しっかりと御影石の石垣が積まれ、大樹に被われている。

景行天皇と言えば**小碓命**（こうすのみこと＝倭建命＝やまとたけるのみこと）に熊襲建（くまそたける）征伐を命じた天皇で、古事記のなかでも注目される倭建命の遠征、活躍エピソードが華々しく登場するところであり、大和朝廷の盤石な平定の働きが記録されている天皇の時代である。
「大碓命」の御陵がなぜ猿投山に有るのか、・・古事記には弟**小碓命**（倭建命＝やまとたけるのみこと）が「手足をもぎとり、薦（こも）に巻いて捨てられた」とあるのに　疑問が湧き「大碓命」をインターネット等で調べてみる。

古事記には　「大碓命、小碓命は景行天皇の双子の皇子」とある。景行天皇は三野国造（みののくにのみややっこ＝美濃の国守）　大根王（おおねのみこ）の娘 兄比売（えひめ）　弟比売（おとひめ）が非常に美しいとの噂を聞き、宮に召抱えようと**大碓命**を使いに出し二人の乙女を連れてくるように命じた。
しかし**大碓命**は二人の余りの美しさに自分の妻にしてしまうそして、偽者を天皇に差し出した。

天皇はすぐに偽者と気付いたが、何もいわなかった。　ある日、天皇は小碓命を呼んで「お前の兄の大碓は朝夕の朝廷での会食に全然参加しない。お前が教え諭して

明日からは連れてくるように」と命じた。　しかしそれより五日たっても大碓命が会食に訪れる事はなかった。天皇が痺れを切らし、小碓命に尋ねると　「兄は言っても聞かないので、朝、厠（かわや）に入るところを待ち構えて捉え、手足をもぎとり、薦（こも）に巻いて捨ててしまいました」との、大碓の最期が記されている。

その「大碓命」の御陵がなぜ猿投山に有るのだろうか？
兄の五十瓊敷命（いにしきのみこと）を押しのけて皇位に付いた景行天皇の強い性格を知る小碓命は父を裏切った兄を救う為、「死体も確認できないようにばらばらにして捨てた」と言って兄をどこか父の目の届かないところに逃がしたのではないか　・・・・・　？と。

その為か、その後の景行天皇の小碓に対する　熊襲建（くまそたける・熊襲にすむ猛々しい強い男）の西征伐、草薙の剣が登場する蝦夷東征伐と矢継ぎ早の難題を小碓（倭建命＝やまとたける）に命令した。
小碓の知恵と強さ、気性の荒々しさに恐れを成した天皇が小碓を自分から遠ざけるための策ではと推測する人も多いとある。

この謎解きの続きを更に『日本書紀』に訪ねてみると景行天皇は
「予に懼るること 甚 しきとのたまふ。
此に因りて、遂に美濃に封さす。仍りて 封地 に如る」

と有り　大碓命は美濃の国にて余生を送ったことに成っている。どちらにせよ、争いの嫌いな大碓命にとっては、都を離れ綺麗な嫁さんとのんびり美濃の田舎で暮らし、「天皇の息子や」と周りに大事にされてこの地で生涯を終えた。
その大碓命を祭る御陵が「猿投山」に有るのではと　・・・・・。

春になり体の調子を見て花と新緑の猿投山散策に挑戦したい。

第4回ぷらな川柳会

早や立春も過ぎましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。この会も無事4号を迎えることができ、これもひとえに会員の皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。
さて、今号のテーマは、「新型インフルエンザ」と「草食系」ということでそれなりに世間にアンテナをはり廻らせておきませんと、なかなか厄介なテーマではなかったかと思います
しかしこの難しいテーマを、軽いフットワークで鮮やかに切り抜けられてこられ、世間的に見ても良いセンをいっているのではないかと思うしだいです。

尾張旭市　松本　紘一

[演題１：新型インフルエンザ]

佳　インフルに　インフラされる　今デフレ　‥‥‥ いかにも軽快で好感が持てる

行き場ない　輸入ワクチン　どうしょう　‥‥‥ あまり手回しを良くやると、今度はこういうことになる

秀　インフルに　白旗掲げる　マスクマン　‥‥‥ 今年はマスクの当たり年

秀　老いの身には　インフルも寄らず　素通りす‥‥‥ インフルさえも立ち寄ることもなく素通りして行ってしまう

佳　不況でも　できる行列　新型外来　‥‥‥‥‥‥ なるほどとうなずかされる１句

佳　ウイルスが　居ようがいまいが　風邪をひき　‥‥ 中の句が効いている

[演題２：草食男子]

草食系　女房にふところ　支配され　‥‥‥ 肉食系女房にかなうわけがない

佳　婆さんの　食事はいつも　草食系　‥‥‥‥‥ こういう目のつけどころが独特のものをこの作者は持っている

草食は　早食と　僧職も言い

ライオンに　食われる僕って　何だろう

草食系　見方を変えれば　食肉系　‥‥‥ この場合、食肉系では落ち着かない。肉食系が正解

草食系　アラフォー女に　もてまくり

[演題３：自由題]

六月の　熱い日々から　50年　‥‥‥‥ 60年安保も遠くなりました

幻想が　幻惑と化し　50年

佳　交代が　後退となり　年の暮れ ‥‥‥政権交代のはずが後退になってしまった

秀：秀逸、　佳：佳作

次号のテーマは「自由題」としてご投句願います。締切り日は特に設定しませんので、気軽にご応募下さい。

松本紘一

娘と私の珍道中

岩倉市　**増田　民子**

2月27日に愛知芸術文化センターの「大ローマ展」を見に行きました。ローマ・ポンペイは昔、娘と旅行した思い出の所なのでもう一度その雰囲気に浸りたくて出かけました。
11時30分に栄で娘と待ち合わせ、食事を済ませて(これが又一つの楽しみです)目的の所に行きました。

入場券を買って中に入ると音声ガイドがありましたので500円を払ってそれを着け、30分くらいは快適に音声ガイドに従って見て回りました。
その後が予想外で、連日出歩いていたので疲れが出たのか歩くのが苦痛で、一つ見ては椅子に腰掛けて休憩、又休憩 ・・・・・・・・。 おまけに眠くなりとても鑑賞する気力はありません。こんな親と一緒に歩いている娘が言うには、展示物をジーッと見ていると眠くなるらしい。

バーチャル・リアリティ映像の部屋は暗いので、「ここで少し寝よう」 と話を決め一番後の角に二人並んでコックリ、コックリ ・・・・・・・。
12分が一区切りで絶えず客が出入りしますが、映像は引き続き流れていますのでそのまま寝ました。20分位過ぎたところで、娘が 「もう出ようか？」 と言いましたが 「もう少し寝るわ」 と言って又ウツラ ウツラ ・・・・・・・。で、30分位休憩したと思います。

いざ、又回ろうと思っても、今度は頭が受付ません。見るとも無く歩いて、その挙句 「もう外に出ようか？」。 思ってみるに、何をしに来たのか訳が分かりません。
入場券1200円を100円引きで1100円、音声ガイド 500円。収穫は何もありません。
外へ出て喫茶店でアイスコーヒーとケーキを食べて、デパートで食品の買い物をして、娘平針、私岩倉と別れて帰りました。

10年前に、厳しい手荷物検査を受けてイギリスの大英博物館でミイラの展示を見ました。やはり娘と一緒のイギリス旅行で、この時は感激して帰ってきた事を今でも覚えています。
それ故、もう一度旅行の思い出に浸りたくて出かけたのですが、残念でなりません。今後この様な催しがある時は、よく体調を整えて出かけることにします。

しかし今回の出来事も、私にとっては娘と一緒の消える事のない一生の思い出として残ると思います。いつかは笑って済ませる微笑ましい思い出に変身して ・・・・・・。

増田さんは45号でも 「ゴールデンウイーク」 と題して、カラオケの待合わせ場所を勘違いして反故になった失敗談を書いておられます。 くよくよしない、あくせくしない前向きの気持ちがが、いつもニコニコさせているのではないでしょうか？ 失敗なんてへっちゃらですよ！ （池田）

愛知県の人は本当に親切だ！

緑区　**池田幸夫**

幸運なことが２日続けておきました。何れも駐車場に関係する出来事ですが、愛知県の人はやはり親切でした。

その１：２月２０日（土）、一宮スポーツ文化センターで起きました。当日は医療講演会が開催された日で、午前１０時に会場に着いてしまいました。
駐車場は有料で、反対側に無料駐車場があると言われて移動しました。しかし満杯で、待てども待てども無料駐車場は空きません。

「有料駐車場に入れたら１０００円位取られるかなぁ～？」と思っていたら、年配の紳士がつかつかと私の傍に来られて、「無料で駐車できる所を教えてあげましょうか？」と言われます。
私も無料は大好きなんですと応じると、「では私について来て下さい」と誘導され、着いたところが歩いて２～３分のところの「K 会館駐車場」とあります。
結局、お言葉に甘えて１６時まで駐車させて頂きました。見知らぬお方ですが、本当にありがとうございました。

その２：明くる日の２月２１日（日）は岡崎市で浅井志津子さんの「パーキンソン病罹患 10 周年記念個展」の最終日です。都合があって最終日になってしまいました。
1 号線を名古屋から来て康生通交差点を右折して南下し、右折禁止区間を過ぎて右折と思っていたら変なところで右折していました。
何処に殿橋ギャラリーはあるのかと思って降りてうろうろしていたら、後から来た車が私の前に停車しお嬢さんのような方を降ろされました。

これは助かったと思い、尋ねてみますと「そこなら良く知っています。私が誘導しますのでついてきて下さい」と言われます。そこまでして貰うのは気が引けるのでご辞退申し上げると、「いえいえ、構いません。さあ～、ついて来てください」。それではとついて行きますと、殿橋ギャラリーの前を通って左折し T センターの駐車場へ。

個展は多くの観客に囲まれ、病との戦いの間に生まれたという浅井さんらしい温かい雰囲気を感じました。中でもご家族 16 名の肖像画は実にほのぼのとして浅井さんらしい暖かい気遣いが醸し出されています。
私は転勤族で、締めて １１回の引っ越しをしました。 夫々の土地を楽しみ、嫌な思いをしたという経験がありません。
患者でない私でさえ、こういった善意を受けられるのです。それこそ病で外出をためらっておられる方は、思い切って外に出てみませんか？
視界も開け、心の重石もとれて軽くなり、なにより人の善意に巡り合えますよ！

春が好き

稲沢市　今枝　清美

春の香りの風が好き
“ふわり”と優しく包んでくれる
春風が好き

重いコートを脱いで
身軽になれる春が好き
身も心も軽くなる

心躍る春が好き
何か楽しいことが　待っていそうで
心ときめく春が好き

厳しい寒さにじっと耐え
みごとに花咲く　桜が好き
誰もが満面の笑顔になる

植物たちの生命が　躍動する春が好き
桜花爛漫　桜色に包まれて
赤青黄色のパンジーに　チューリップ

絵画のような風景に　身を寄せて
病気の重い体も　軽くなる
みんなが幸せな顔をする　春が好き

自句自解

越澤　博

初花や高校生となりし美穂
花の下我を頼りの妻とゐて
花影に避けたきほどの日差しかな
病窓に花の風入れ見舞ひけり
一水を隔て城なる花の影
花くぐり山門くぐり空青き
甲羅干す亀に落花の及びゐし
花の散り尽くして心区切りとす

花　（はな）　今年は桜の開花が十日も早いようです。花とは桜の花を言います。初花、彼岸桜、枝垂桜、山桜、八重桜、遅桜、落花、・・・花の季題は沢山あります。初花は、その春に初めて咲く桜の花です。美穂は孫娘。また、花盛りのころは、かなり日差しが強くなります。晴れると花影に避けたいほどです。

一水の句は名古屋城です。私の一番好きなところ（南西から濠を隔て、鵜の首越しに天守閣を見る）から眺めた光景です。山門、亀の句は、近くの笠寺観音での写生句です。

最後の句、花も終り、葉桜となり、私も心機一転。葉桜もいいものです。

葉桜となりて公園安らげる　　移動図書館葉桜の濃きところ　　と云ったところです。

事務局たより

越澤　博

1．国会請願・署名と募金　ありがとうございました。

年に一度、私達の声を国会や厚生労働省に届けています。今年のパーキンソン・デー（4月11日）は日曜日ですので、4月13日（火）にお届けします。

2．ドミン（非麦角系アゴニスト）製造中止は延期

日本ベーリンガーインゲルハイム社がドミンの製造販売を中止したいとする意向に対して、齋藤・全国パーキンソン病友の会長名にて文書で、**製造販売を継続してほしい**と申し入れていましたところ、トーマス・ハイル社長から文書で「弊社では貴会のご要望を真摯に受け止め・・・・有用な薬剤を安定供給する製薬企業の社会的責任を全うするため、ドミンの供給継続の経営判断にいたりました」と回答があったそうです。

3．ペルマックスの製造者の変更

麦角系アゴニストの「ペルマックス」は、日本イーライリリー社で製造販売されていましたが、4月1日付けで協和発酵キリン社へ委譲されることになりました。現在、この薬剤を服用されている患者さんにとっては特に支障はないそうです。薬価も変らないそうです。協和発酵キリン社はイーシー・ドパールを製造しています。

4．丹羽浩介さんの遺徳

丹羽さんが亡くなられて二度目の春がやってきます。愛知県友の会の『会報』で、丹羽さんの記事を読み、「なんて、素晴らしい人なのだろう」といまだに手紙や電話をいただきます。最近も岩手県、茨城県から「直接、丹羽さんにお聞きしたい」と言ってきました。愛知県版34号（第31回・全国総会シンポジュームの記録）を読んで感心しましたと具体的に言ってこられる方もあります。
パーキンソン病で亡くなられたのですか。　いいえ、副腎ガンでした。
丹羽さんは、パーキンソン病については実にうまくコントロールされていました。

5．会費納入について

会報50号に「払込取扱票」を同封しました。年額5,000円です。
※　他の金融機関からお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は
銀行名　ゆうちょ銀行　　金融機関コード　9900　　店番　089
店名（カナ）〇八九店（ゼロハチキュウ店）　預金種目　当座
口座番号　0050411　　受取人名　ゼンコクパーキンソンビョウトモノカイ　アイチケンシブ　　です。

竹頭木屑

越澤　博

○　国会請願の署名を毎年いただいていますが年々少なくなっています。会員の方々も高齢化が進み、署名をいただくのが大変になっておられることと推察いたします。皆様のご努力に心から敬意を表します。

○　最近一冊の本をいただきました。池田大作　名言100選という本です。「名言」というだけあって心に響く言葉がぎっしりつまっています。どこから読んでも素晴らしく、座右の書とはこのような本かと思います。
読書というところに、「読む」ことは「心を耕すクワ」といえる。本そのもののなかに、知恵や幸福があるわけではない。本来、それらは全部、自分のなかにある。しかし、読書というクワで、自分の心、頭脳、生命を耕してこそ、それらは芽を出し始める。とありました。そう言えば、私が高校生のころ、カルチャー**culture：教養**という言葉が流行りました。（戦後の昭和22～25年ごろのことです）このとき、カルチャーの第一義は耕作、耕すことであると教わったことを思い出しました。
心を耕す・・・いい言葉じゃないですか。

○　岡崎の浅井志津子展：充実の時間をありがとうございました。
特に感銘をうけましたのは、名市大にDBS手術のため入院中に描かれた作品です。十三階の病室から市街を眺めた作品です。本人も楽しかったとおっしゃっていました。それに、家族を描かれた作品です。愛情あふれる作品でした。
余談ですが、ご主人が東京神田の榮太楼本舗の隣に生まれたとか、このごろは珍しくなった飴をいただき、美味しかったです。

1971年~~6~~8月7日　第３種郵便物認可　　毎月１・６の日発行
2010年　４月　２日発行　　増刊通巻第６８６３号
ＳＳＫＡ　　全国パーキンソン病友の会会報・愛知県版５０号

〔原稿の募集〕　あなたの生活体験、生きる喜び、こんな事ができます、
友の会と私など実体験を書いて下さい。
あなたの体験が、どこかで誰かを勇気づけています。

〔原稿送付先〕

＊　郵　送：〒458－0812　名古屋市緑区神の倉４－149－4
池田　幸夫
＊　FAX　：052－876－1209
＊　メール：ikeda11009@tea.ocn.ne.jp

〈編集後記〉

会報が５０号の節目を迎えました。丹羽さんを初め、多くの先人の努力が１０年を越えて実を結びました。その時に立ち会えた事は光栄ですが、会報担当をすることになったときに；

「会報の目的は、読者に生きる希望と勇気を持って貰えることだ！」

と丹羽さんから教えられました。その目的からすると一抹の不安を覚えますが、目的を達成するためには　「できるだけ皆様の声を頂くことであり、その声を大きくして皆様に伝える事」が希望と勇気を与えることになると確信します。従来に倍して、皆様と一緒になって会報を作っていきましょう。

（池田）

・編集人　：　愛知県パーキンソン病友の会　　池田　幸夫
・発行人　：　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
〒１５７－００７３　東京都世田谷区砧　６－２６－２１
ＴＥＬ：０３－３４１６－１６９８
ＦＡＸ：０３－３４１６－３１２９
・加入者　：　全国パーキンソン病友の会愛知県支部　　越澤　博
〒４５８－０８４７　名古屋市緑区浦里１－６８－５０８
ＴＥＬ／ＦＡＸ　０５０－３３３５－４９７０
・定価　　：　５００円